

**D-Link DAP-1880AC**  
**IEEE 802.11ac In-Wall PoE Access Point**

**ユーザマニュアル**  
.....



## 安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

### 安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

|                                                                                   |                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
|  | この表示を無視し、間違った使い方をすると、死亡または重傷を負うおそれがあります。        |
|  | この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。 |
|  | この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。    |

#### 記号の意味

 してはいけない「禁止」内容です。  必ず実行していただく「指示」の内容です。

### 危険

- |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>禁止</b> 分解・改造をしない<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。                                                                  |  <b>禁止</b> 油煙、湯気、湿気、埃の多い場所、高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、風呂場など）、振動の激しい場所では、使用、保管、放置しない<br>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。 |
|  <b>禁止</b> ぬれた手でさわらない<br>感電の原因となります。                                                                             |  <b>禁止</b> 内部に金属物や燃えやすいものを入れない<br>火災、感電、故障の原因となります。                                                                                             |
|  <b>禁止</b> 水をかけたり、ぬらしたりしない<br>内部に水が入ると、火災、感電、故障の原因となります。                                                         |  <b>禁止</b> 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしない。<br>また、砂などが付着した手で触れない<br>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。                                                               |
|  <b>禁止</b> 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）でぬれた状態で触ったり、電源を入れたりしない<br>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。                            |  <b>禁止</b> 電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理機、圧力釜など高圧容器に入れたり、近くに置いたりしない<br>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。                                                           |
|  <b>禁止</b> 各種端子やスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をいれない。万が一、入ってしまった場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜く<br>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。 |                                                                                                                                                                                                                                  |

### 警告

- |                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>禁止</b> 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない<br>故障の原因となります。                                           |  <b>指示</b> ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉じんが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切る<br>引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。 |
|  <b>禁止</b> 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない<br>感電、火災の原因になります。<br>使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなってから販売店に修理をご依頼ください。 |  <b>禁止</b> カメラのレンズに直射日光などを長時間あてない<br>素子の退色、焼付きや、レンズの集光作用により、火災、やけど、けがまたは故障の原因となります。                              |
|  <b>禁止</b> 表示以外の電圧で使用しない<br>火災、感電、または故障の原因となります。                                                           |  <b>指示</b> 無線製品は病院内で使用する場合は、各医療機関の指示に従って使用する<br>電子機器や医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。                                     |
|  <b>禁止</b> たこ足配線禁止<br>たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。                                                  |  <b>禁止</b> 本製品の周辺に放熱を妨げるようなもの（フィルムやシールでの装飾を含む）を置かない<br>火災、または故障の原因となります。                                         |
|  <b>指示</b> 設置、移動のときは電源プラグを抜く<br>火災、感電、または故障の原因となります。                                                       |  <b>指示</b> 耳を本体から離してご使用ください<br>大きな音を長時間連続して聞くと、難聴などの耳の障害の原因となります。                                                |
|  <b>禁止</b> 雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない<br>感電の原因となります。                                                        |  <b>指示</b> 無線製品をご使用の場合、医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは、販売業者に、電波による影響について確認の上使用する<br>医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。    |
|  <b>禁止</b> ケーブル/コード類や端子を破損させない<br>無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障の原因となります。     |  <b>指示</b> 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない<br>電子機器が誤作動するなど、悪影響を及ぼすおそれがあります。                                      |
|  <b>指示</b> 本製品付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルを指定のコンセントに正しく接続して使用する<br>火災、感電、または故障の原因となります。                           |  <b>指示</b> ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際は、割れたガラスや露出した端末内部に注意する<br>破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電の原因となります。                        |
|  <b>禁止</b> 各光源をのぞかない<br>光ファイバケーブルの断面、コネクタおよび本製品のコネクタや LED をのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。                   |  <b>指示</b> ペットなどが本機に噛みつかないように注意する<br>火災、やけど、けがなどの原因となります。                                                        |
|  <b>禁止</b> 各種端子やスロットに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにする<br>火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。            |  <b>禁止</b> コンセントに AC アダプタや電源ケーブルを抜き差しするときは、金属類を接触させない<br>火災、やけど、感電または故障の原因となります。                                 |
|  <b>禁止</b> 使用中に布団で覆ったり、包んだりしない<br>火災、やけどまたは故障の原因となります。                                                     |  <b>禁止</b> AC アダプタや電源ケーブルに海外旅行用の変圧器等を使用しない<br>発火、発熱、感電または故障の原因となります。                                             |

**⚠ 警告**

-  AC アダプタもしくは電源プラグについたほこりは、拭き取るほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
-  AC アダプタや電源ケーブルをコンセントにさしこむときは、確実に差し込む。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電もしくは故障の原因となります。
-  接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用を中止する。また、変形をもとに戻しての使用も行わない。端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。
-  各種接続端子を機器本体に接続する場合、斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしない。火災、やけど、感電または故障の原因となります。
-  使用しない場合は、AC アダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
-  お手入れの際は、AC アダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。抜かずに行くと、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
-  禁止 SD や MicroSD カード、USB メモリの使用中は、カードやメモリを取り外したり、本製品の電源を切ったりしない。データの消失、機器本体の故障の原因となります。
-  禁止 磁気カードや磁気を帯びたものを本製品に近づけない。磁気カードのデータが消えてしまうおそれもしくは機器本体の誤作動の原因となります。
-  ディーリンクジャパンが販売している無線機器は国内専用のため、海外で使えない。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられる場合があります。海外から持ち込んだディーリンク製品や並行輸入品を日本国内で使用する場合も同様に、罰せられる場合があります。

**⚠ 注意**

-  禁止 乳幼児の手の届く場所では使わない。やけど、ケガまたは感電の原因となります。
-  静電気注意。コネクタや電源プラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけると故障の原因となります。
-  禁止 コードを持って抜かない。コードを無理に曲げたり、引っ張ると、コードや機器本体の破損の原因となります。
-  禁止 振動が発生する場所では使用しない。故障の原因となります。
-  付属品の使用は取扱説明書に従う。本製品の付属品は、取扱説明書に従い、他の製品に使用しないでください。機器の破損の原因となります。
-  禁止 破損したまま使用しない。火災、やけどまたはけがの原因となります。
-  禁止 ぐらついた台の上や傾いた場所などの不安定な場所や高所には置かない。落下して、けがなどの原因となります。
-  禁止 子供が使用する場合は、保護者が取扱いの方法を教え、誤った使い方をさせない。けがや故障などの原因となります。
-  本製品を長時間連続使用する場合は、温度が高くなることもあるため、注意する。また、使用中に眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにする。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどの原因となります。
-  禁止 コンセントにつないだ状態で、AC アダプタや電源コンセントに長時間触れない。やけど、感電の原因となります。
-  一般の電話機やコードレス電話、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使わない。近くで使用すると、本製品が悪影響を及ぼす原因となる場合があるため、なるべく離れた場所で使用してください。
-  禁止 D-Link が指定したオプション品がある場合は、指定オプション品を使用する。不正なオプション品を使用した場合、故障、破損の原因となります。

**電波障害自主規制について**

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ご使用上の注意

---

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- マニュアルなどに記載されている以外の方法での使用はやめてください。
- 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。
- 本製品の開口部に物をさしこまないでください。火事や感電を引き起こすことがあります。
- IEEE 802.3af 準拠の無線スイッチまたは弊社が承認する給電機器から給電を行ってください。
- 本製品は動作中に高温になる場合があります。本製品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 本製品は動作中に高温になる場合がありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどの原因になります。
- 市販のオプション品や他社製品を使用する場合、当社では動作保証は致しませんので、予めご了承ください。
- 乳幼児が、製品に触れないよう、保護者の方は十分にご注意ください。
- 本製品の前後左右、および上下部には物を置いたり、貼り付けたりしないでください。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと火災の原因となります。
- 製品に貼られている製品ラベルや認証ラベルをはがさないでください。はがしてしまうとサポートを受けられなくなります。

## 静電気障害を防止するために

---

静電気は、本製品内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、本製品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。

さらに、静電気放出（ESD）による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 機器を箱から取り出すときは、機器をシステム等に取り付ける準備が完了するまで、本製品を静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に必ず静電気対策を行ってください。
3. 静電気に敏感な機器の取り扱いには、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

## 電源の異常

---

万一停電などの電源異常が発生した場合は、本製品が接続している PoE 給電デバイスの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

## 無線 LAN について

業界標準に基づく弊社の無線 LAN 製品は、ご家庭や職場または公共の施設において、使いやすく互換性の高い高速の無線接続を提供します。これらを使用して時間や場所に関わらず必要なデータにアクセスすることができます。

WLAN は家庭やオフィス環境のみならず、空港やコーヒESHOP、または大学など公共の施設においても幅広く利用されるようになってきました。この WLAN 技術を用いることにより、仕事やコミュニケーションがさらに効率的に行えるようになってきています。無線技術により可動性が増し、配線や固定のインフラが減少したことでユーザに大きなメリットが生まれました。

ノート型やデスクトップ型 PC に使用する無線アダプタはイーサネットのアダプタカードと同じプロトコルをサポートしており、無線ユーザは有線ネットワークと同じアプリケーションを利用できるようになりました。

## WLAN 技術を利用するさまざまな理由

### 可動性

WLAN の動作範囲内のどこからでもデータにアクセス可能であり、生産性を向上します。また、リアルタイムな情報に基づく管理により作業効率が向上します。

### 低い実現コスト

WLAN は設置、管理、変更、移転のすべてが簡単です。このような WLAN の扱いやすさはネットワークの変更が頻繁に要求される環境に適しています。WLAN は有線ネットワークでは困難であった場所へのネットワーク導入を可能にします

### 簡単な設置と拡張

煩わしい複雑なケーブル配線作業、特に壁や天井へのケーブル敷設の必要がないため、手早く簡単にシステムの設置を行うことができます。無線技術は、ネットワークを家庭やオフィスを超えて拡張することで、さらなる多用途性を提供します。

### 低コストのソリューション

無線 LAN デバイスは、従来のイーサネット用機器とほぼ同等の価格設定となっています。本製品は設定可能な複数のモードで多機能性を提供し、コスト削減を行います。

### 柔軟性

配置する無線 LAN デバイスの数によって、ピアツーピアのネットワークが適している小さなユーザグループから大規模なインフラネットワークまで、自由自在に構築することができます。

### 世界基準対応の技術

無線機器は、IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n および IEEE 802.11ac に準拠しています。

#### ● IEEE 802.11ac 規格

IEEE 802.11ac 規格の無線通信速度は、最大 867bps までと高速化されており、5GHz 帯の周波数と「OFDM」技術をサポートしています。

#### ● IEEE 802.11n 規格

IEEE 802.11n 規格は、従来の IEEE 802.11a、IEEE 802.11b および IEEE 802.11g の機能を拡張した規格です。無線通信速度は、最大 300Mbps までと高速化され、2.4GHz 帯および 5GHz 帯の周波数を利用し、こちらも「OFDM」技術をサポートしています。

これらにより、多くの環境下において、無線サービスエリア内でネットワークによる大容量の送受信や遅延の少ない MPEG 形式の映像の視聴などが可能になります。OFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing) という技術により、この大容量のデジタルデータの高速伝送を無線で行うことができます。OFDM では、無線信号を小さいサブ信号に分割し、それらを同時に異なる周波数で送信します。OFDM により、信号伝送時のクロストーク（干渉）の発生を抑えることが可能です。

IEEE 802.11n 規格は、「WPA」を含む現在最も先進的なネットワークセキュリティ機能を提供します。

WPA/WPA2 には企業向けの「Enterprise」とホームユーザ向けの「Personal」の 2 種類があります。「WPA-Personal」と「WPA2-Personal」はユーザ認証に必要なサーバ機器を持たないホームユーザを対象としています。その認証方法は、無線ルータやアクセスポイントに「Pre-Shared Key（事前共有鍵）」の定義を行うという点で WEP と似ています。クライアントとアクセスポイントの両方において、事前共有鍵が確認され条件が満たされた時にアクセスが認められます。

「WPA-Enterprise」と「WPA2-Enterprise」は既にセキュリティ用にインフラが整備されている企業を対象としています。ネットワーク内のサーバを中心にネットワーク管理とセキュリティの実施を行うような環境を想定しています。

ネットワーク管理者は、RADIUS サーバ上で 802.1X を使用し、無線 LAN へのアクセスを許可するユーザのリストを定義します。「WPA-Enterprise」または「WPA2-Enterprise」を実装した無線 LAN にアクセスする場合、ユーザはユーザ名とパスワードの入力を要求されます。ユーザがネットワーク管理者によってアクセスを許可されており、正しいユーザ名とパスワードを入力すると、ネットワークへのアクセスが可能になります。例えば、ある社員が会社を辞めるというような場合、ネットワーク管理者がアクセス許可者のリストからその社員のデータを削除すれば、ネットワークを危険にさらすことは避けることができます。

EAP（Extensible Authentication Protocol）は Windows OS に実装されています。802.1X の機能を使用する際には、ネットワークにおけるすべてのデバイスの EAP タイプを同一にする必要があります。

### 重要

最大の無線信号速度は理論値であり、実際のデータスループットは異なります。ネットワーク条件と環境には、ネットワークトラフィック量、建築材料や工事、ネットワークオーバーヘッドが含まれ、実際のデータスループット速度は低くなります。環境条件は無線信号範囲に悪影響を与えます。



無線に関するご注意

電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線製品として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品の使用する上で、無線局の免許は必要ありません。  
本製品は、日本国内でのみ使用できます。

以下の注意をよくお読みになりご使用ください。

- 本製品を以下の場所では使用しないでください。
  - ・ 心臓ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器の近くで使用すると電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
  - ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を必要とする無線局）および特定小電力無線局（免許を必要としない無線局）
  - ・ 電子レンジの近くで使用すると、電子レンジによって無線通信に電磁妨害が発生します。
  - ・ 電気製品、AV 機器、OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用すると下記のような影響があります。
    - 時期や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります。
    - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
    - 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 本製品は技術基準適合証明を受けています。本製品の分解、改造、および裏面の製品ラベルをはがさないでください。

2.4GHz 帯使用の無線機器の電波干渉に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用している移動体識別用の構内無線局（免許を必要とする無線局）および特定小電力無線局（免許を必要としない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を必要とする無線局）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止してください。
- その他、本製品から移動体通信用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

|         |                                                      |
|---------|------------------------------------------------------|
| 使用周波数帯域 | 2.4GHz 帯                                             |
| 変調方式    | DS-SS 方式 /OFDM 方式                                    |
| 想定干渉距離  | 40m 以下                                               |
| 周波数変更可否 | 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能 |

5GHz 帯使用に関するご注意

無線 LAN の 5.2/5.3GHz（W52/W53）をご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

## 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

### ● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

### ● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下の行為を行う可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

## 安全にお使いいただくために

---

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。

必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書、設置マニュアル、および弊社 WEB に掲載された製品保証規程をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従ってご使用ください。

製品保証規定は以下を参照ください。

<https://www.dlink-jp.com/support/info/product-assurance-provision.html>

- 本書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品の日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。
- 弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。
- 弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用前にご確認ください。

製品保証、保守サービス、テクニカルサポートで利用について、詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご確認ください。

<https://www.dlink-jp.com/support>



本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。



## 目次

|                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| 安全にお使いいただくために.....                  | 2         |
| ご使用上の注意.....                        | 4         |
| 静電気障害を防止するために.....                  | 4         |
| 電源の異常.....                          | 4         |
| 無線 LAN について.....                    | 5         |
| WLAN 技術を利用するさまざまな理由.....            | 5         |
| 無線に関するご注意.....                      | 6         |
| <b>はじめに</b> .....                   | <b>11</b> |
| 本マニュアルの対象者.....                     | 12        |
| 表記規則について.....                       | 12        |
| 製品名 / 品番について.....                   | 12        |
| <b>第 1 章 本製品のご利用にあたって</b> .....     | <b>13</b> |
| 製品概要.....                           | 13        |
| サポートする機能.....                       | 13        |
| パネル / ポートについて.....                  | 14        |
| 前面パネル.....                          | 14        |
| 背面パネル (背面底部).....                   | 15        |
| 前面上部.....                           | 15        |
| <b>第 2 章 アクセスポイントの設置</b> .....      | <b>16</b> |
| パッケージの内容.....                       | 16        |
| システム要件.....                         | 16        |
| ネットワーク接続前の準備.....                   | 16        |
| 製品の設置.....                          | 17        |
| イーサネットケーブルの接続.....                  | 17        |
| 電源の投入.....                          | 17        |
| アクセスポイント設置後のネットワーク接続の例.....         | 17        |
| <b>第 3 章 Web ベース設定ユーティリティ</b> ..... | <b>18</b> |
| 設定メニューの操作.....                      | 18        |
| <b>第 4 章 ホームメニュー</b> .....          | <b>20</b> |
| システム情報.....                         | 20        |
| NMS 情報.....                         | 20        |
| システム.....                           | 21        |
| 有線 WAN ポート設定.....                   | 21        |
| 有線 LAN ポート設定.....                   | 22        |
| ワイヤレス 2.4GHz.....                   | 22        |
| ワイヤレス 2.4GHz /SSID.....             | 22        |
| ワイヤレス 5GHz.....                     | 23        |
| ワイヤレス 5GHz /SSID.....               | 23        |
| ワイヤレスクライアント.....                    | 24        |
| 更新時間.....                           | 24        |
| 2.4GHz WLAN クライアントテーブル.....         | 25        |
| 5GHz WLAN クライアントテーブル.....           | 25        |
| コンフィグレーション.....                     | 26        |
| 保存した設定を適用.....                      | 26        |
| 保存した設定を破棄.....                      | 26        |
| <b>第 5 章 基本設定メニュー</b> .....         | <b>27</b> |
| ワイヤレス.....                          | 27        |
| LAN (基本設定).....                     | 29        |
| LAN 側 IP アドレス.....                  | 29        |
| LAN 側 DNS サーバ.....                  | 30        |
| LAN 側詳細設定.....                      | 30        |
| <b>第 6 章 詳細設定メニュー</b> .....         | <b>31</b> |
| パフォーマンス.....                        | 31        |
| 2.4GHz/5GHz ワイヤレススケジュール.....        | 32        |
| マルチ SSID.....                       | 33        |
| VLAN.....                           | 35        |
| VLAN インタフェース.....                   | 35        |
| 管理 VLAN.....                        | 36        |

|                                           |           |
|-------------------------------------------|-----------|
| WPS.....                                  | 37        |
| WPS .....                                 | 37        |
| 2.4GHz WPS .....                          | 38        |
| 5GHz WPS .....                            | 38        |
| WPS セキュリティ .....                          | 39        |
| ワイヤレス 2.4GHz .....                        | 39        |
| ワイヤレス 5GHz .....                          | 39        |
| MAC フィルタ .....                            | 40        |
| ワイヤレスアクセスコントロールモード .....                  | 40        |
| MAC アドレスを追加 .....                         | 41        |
| MAC アドレスフィルタリングテーブル .....                 | 41        |
| 2.4GHz WLAN クライアントテーブル .....              | 41        |
| 5GHz WLAN クライアントテーブル.....                 | 42        |
| <b>第 7 章 管理メニュー</b> .....                 | <b>43</b> |
| ログイン設定 .....                              | 43        |
| このデバイスを管理するためのアカウント .....                 | 44        |
| システム設定 .....                              | 44        |
| タイムゾーン .....                              | 45        |
| 日付と時間設定 .....                             | 45        |
| NTP サーバ .....                             | 46        |
| タイムゾーン .....                              | 46        |
| ネットワーク統計 .....                            | 47        |
| ログ .....                                  | 48        |
| Syslog サーバ .....                          | 49        |
| システム .....                                | 50        |
| 再起動 / スケジュール .....                        | 50        |
| 工場出荷時設定 .....                             | 52        |
| バックアップ / 復元 .....                         | 53        |
| ファームウェア .....                             | 54        |
| 自動ファームウェア更新 .....                         | 55        |
| 手動ファームウェア更新 .....                         | 55        |
| ECO 管理 .....                              | 56        |
| LED 設定 .....                              | 56        |
| ECO モード .....                             | 57        |
| <b>第 8 章 NMS メニュー</b> .....               | <b>58</b> |
| NMS 設定 .....                              | 58        |
| コンフィグレーションのバックアップ .....                   | 59        |
| コンフィグレーションの復元 .....                       | 59        |
| NMS グルーピング .....                          | 60        |
| NMS グループ .....                            | 60        |
| 現在のグループメンバ .....                          | 61        |
| AP グループリスト .....                          | 61        |
| NMS モニタ .....                             | 62        |
| NMS グループ .....                            | 62        |
| AP グループ .....                             | 63        |
| ファームウェア .....                             | 64        |
| ファームウェア更新 .....                           | 65        |
| NMS グループ .....                            | 65        |
| AP グループ .....                             | 66        |
| <b>【付録 A】 工場出荷時設定に戻す</b> .....            | <b>67</b> |
| <b>【付録 B】 よくお問い合わせいただくご質問 (FAQ)</b> ..... | <b>67</b> |
| <b>【付録 C】 基本的なネットワークの設定</b> .....         | <b>69</b> |
| IP アドレスのチェック .....                        | 69        |
| 固定 IP アドレスの割り当て .....                     | 70        |
| <b>【付録 D】 NMS について</b> .....              | <b>71</b> |

# はじめに

DAP-1880AC ユーザマニュアルは、本製品のインストールおよび操作方法を例題と共に記述しています。

## 第 1 章 本製品のご利用にあたって

- 本製品の概要とその機能について説明します。また、前面、背面の各パネルと LED 表示について説明します。

## 第 2 章 アクセスポイントの設置

- 本製品の基本的な設置方法と接続方法について説明します。

## 第 3 章 Web ベース設定ユーティリティ

- Web ベースの管理機能への接続方法および設定方法について説明します。

## 第 4 章 ホームメニュー

- 本製品のシステム情報、無線クライアントについての情報を表示します。

## 第 5 章 基本設定メニュー

- 本製品の無線 LAN、有線 LAN についての基本的な設定を行います。

## 第 6 章 詳細設定メニュー

- 本製品の無線 LAN についての詳細な設定を行います。

## 第 7 章 管理メニュー

- アカウントや時間、ログなど本製品の管理設定を行います。

## 第 8 章 NMS メニュー

- 本製品の AP 管理機能「NMS」(Network Management System) についての設定を行います。

## 【付録 A】 工場出荷時設定に戻す

- 本製品のリセットボタンで工場出荷時設定に戻す方法について説明します。

## 【付録 B】 よくお問い合わせいただく質問 (FAQ)

- 本製品のインストールと操作で発生する問題への解決策を提供します。

## 【付録 C】 基本的なネットワークの設定

- 基本的な IP アドレスの設定および確認方法を説明します。

## 【付録 D】 NMS について

- NMS の概要について説明します。

## 本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

## 表記規則について

本項では、本マニュアル中での表記方法について説明します。

**注意** 注意では、特長や技術についての詳細情報を記述します。

**警告** 警告では、設定の組み合わせ、イベントや手順によりネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

表 1 に、本マニュアル中での字体・記号についての表記規則を表します。

表 1 字体・記号の表記規則

| 字体・記号                   | 解説                  | 例                                                                                              |
|-------------------------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「」                      | メニュータイトル、ページ名、ボタン名。 | 「Submit」 ボタンをクリックして設定を確定してください。                                                                |
| 青字                      | 参照先。                | " <a href="#">ご使用になる前に</a> "（13 ページ）をご参照ください。                                                  |
| Menu Name > Menu Option | メニュー構造を示します。        | Device > Port > Port Properties は、「Device」メニューの下の「Port」メニューの「Port Properties」メニューオプションを表しています。 |

## 製品名 / 品番について

本製品の「製品名 / 品番」について一覧を記載します。

### ■製品名 / 品番一覧

| 製品名        | 品番            |
|------------|---------------|
| DAP-1880AC | DAP-1880AC/A2 |

## 第 1 章 本製品のご利用にあたって

- 製品概要
- サポートする機能
- パネル / ポートについて

ここでは、本製品の概要とその機能について説明します。また、前面、背面の各パネル / ポートと LED 表示について説明します。

### 製品概要

D-Link DAP-1880AC は、公共の環境などにおいてシンプルで最適なソリューションを提供する IEEE 802.11ac 準拠の壁埋め込み型アクセスポイントです。2.4GHz/5GHz デュアルバンド同時利用対応、PoE 受電対応、拡張管理機能、信頼性の高いセキュリティ機能などに加え、RJ-45 ギガビットイーサネットポート、RJ-11 モジュージャックの搭載で重要なインフラである無線 / 有線 / 電話回線インタフェースに対応した情報コンセントとしての利用が可能です。ホテルの部屋での利用や、マンションなどでの生活に欠かせないインフラとしての使用に最適化されており、高速ワイヤレス通信、高度のセキュリティ、簡易な運用性を実現します。

#### 様々な環境への対応

同時デュアルバンド無線ネットワークを構築することができる本製品は、2.4GHz、5GHz の両帯域において広範囲な無線領域を実現します。また情報コンセントとして 10/100/1000Base-T ポート / RJ-11 モジュージャックの搭載により、有線でのネットワーク接続や、屋内の電話回線利用も提供します。ギガビットイーサネットポートの裏側のポートは、802.3af PoE 受電機能対応により電源の限られた環境への施工、導入が可能です。

#### 先進の WAVE2 に対応

DAP-1880AC は Wave2 に対応しています。ビームフォーミングと MU-MIMO をサポートし、複数のクライアントを同時に通信させることで、ネットワークパフォーマンスを大幅に改善し、より安定したネットワーク環境を構築することが可能です。

#### 高セキュリティ

本製品は基本的なワイヤレスセキュリティと RADIUS サーバ認証をサポートし、安全なワイヤレスネットワークを維持・提供します。加えて MAC アドレスフィルタリング、SSID ステルス設定、無線 LAN セグメンテーションなどの機能で、ネットワークのさらなる安全性を高めることができます。管理性とセキュリティの両方において充実したアクセスポイントです。

#### シンプルで多彩な管理機能

Web GUI によって管理することが可能です。さらに、NMS (Network Management System) と呼ばれる機能により、設定した「マスタ AP」がコントローラの役目を果たし、ホテルモードでの使用時には、最大 100 台までの「スレーブ AP」を管理することが可能です。また、マルチ SSID (周波数帯ごと 4 個) をサポート、無線の開放時間を制御する無線スケジューラ機能などにより、充実した管理が可能です。

### サポートする機能

- ・ 高速無線ネットワーク規格の IEEE 802.11ac 準拠により高速無線転送速度を提供します。
- ・ IEEE 802.11n に対応し 2.4GHz/5GHz 周波数範囲において高速無線転送速度を提供します。
- ・ IEEE 802.11b に対応し、最大 11Mbps までの無線データ転送速度を供給しているので、システムの接続性を損なうことなく、IEEE 802.11n および IEEE 802.11g に移行できます。
- ・ IEEE 802.11g 規格と互換性があり、2.4GHz 周波数範囲において最大 54Mbps の無線転送速度を提供します。
- ・ IEEE 802.11a 規格と互換性があり、5GHz 周波数範囲において最大 54Mbps の無線転送速度を提供します。
- ・ WPA による強固なセキュリティ  
従来の規格よりさらに高度な暗号化方式である WPA(Wi-Fi Protected Access)を採用し、クライアントとネットワークを安全に接続します。
- ・ IEEE 802.3af Power over Ethernet(PoE) 受電機能をサポート。
- ・ 10/100/1000M イーサネットポート x 2<sup>\*</sup>
- ・ RJ-11 モジュージャック x 1
- ・ 2.4 ~ 2483.5GHz、5.15 ~ 5.35GHz、5.47 ~ 5.725GHz 周波数範囲で作動。

<sup>\*</sup>※表面と背面に 1 ポートずつ配置。背面ポートのみ PoE 受電機能をサポート

パネル / ポートについて

- ・ ネットワークデバイスとの接続および設定、管理用に 2 ポート\*の UTP（Auto MDI/MDI-X）ポートを有します。背面のポートは電源となる PoE 受電用として使用されます。
- ・ UTP ポートは 10/100/1000BASE-T、半二重 / 全二重間のオートネゴシエーション機能、フローコントロールをサポートしています。
- ・ RJ-11 モジュラージャックを前面に搭載しています。

※表面と背面に 1 ポートずつ配置。背面ポートのみ PoE 受電機能をサポート

前面パネル

DAP-1880AC の前面パネルには、電源ボタン、ステータスを表示する POWER / WLAN LED、RJ-11 モジュラージャックと 10/100/1000BASE-T ポートが配置されています。

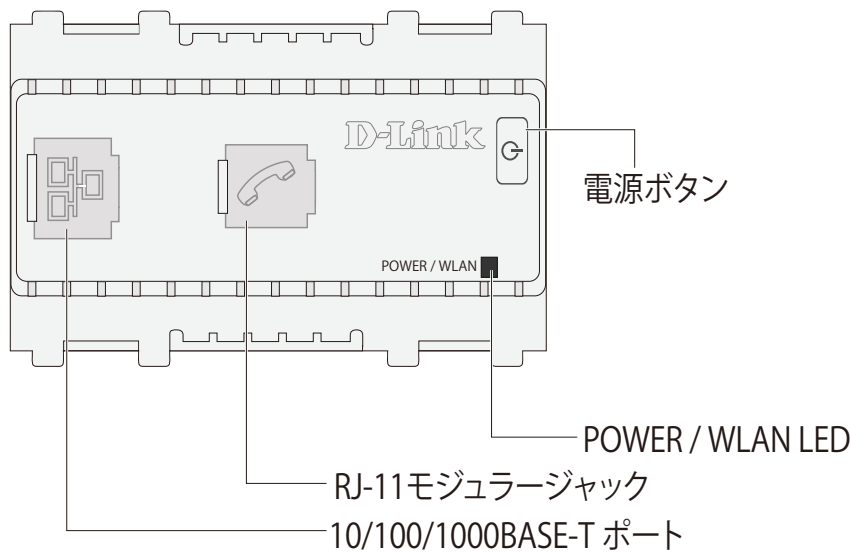


図 1-1 前面パネル図

ステータス LED は以下の状態を表示します。

| LED                        | 色 | 状態 | 状態説明                                                                 |
|----------------------------|---|----|----------------------------------------------------------------------|
| POWER / WLAN               | 緑 | 点灯 | 電源が供給され正常に動作しています。<br>(Power LED 及び 2.4Ghz/5Ghz ワイヤレス設定が有効化されている場合)  |
|                            |   | 点滅 | データを送受信しています。<br>(WLAN LED が有効化されている場合)                              |
|                            | 橙 | 点灯 | ・ 製品が起動中です。<br>・ (2.4Ghz/5Ghz ワイヤレス設定が無効化されている場合) 電源が供給され正常に動作しています。 |
|                            |   | 点滅 | WPS が有効な状態です。                                                        |
|                            | 赤 | 点灯 | 電源にエラーが発生しています。                                                      |
|                            | - | 消灯 | 電源が供給されていません。<br>(Power LED が有効化されている場合)                             |
| 10/100/1000 Base-T ポート LED | 緑 | 点灯 | 1000Mbps による通信が可能な状態です。                                              |
|                            |   | 点滅 | 1000Mbps によりデータを送受信しています。                                            |
|                            | 橙 | 点灯 | 10/100Mbps による通信が可能な状態です。                                            |
|                            |   | 点滅 | 10/100Mbps によりデータを送受信しています。                                          |



## 背面パネル（背面底部）

DAP-1880AC の背面パネル（背面底部）には、10/100/1000BASE-T ポート（PoE 受電）と電話回線（クランプ式）が配置されています。

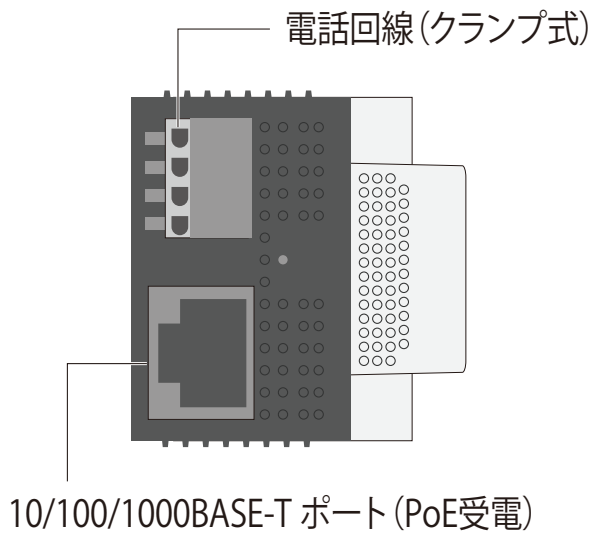


図 1-2 背面パネル図

## 前面上部

DAP-1880AC の前面上部には、RESET/WPS ボタンが配置されています。

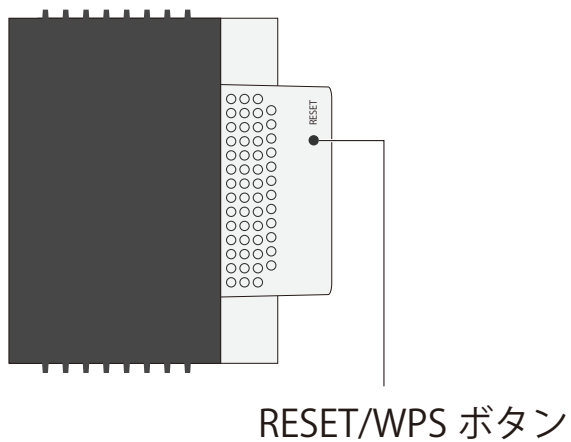


図 1-3 前面上部パネル図

## RESET/WPS ボタンの仕様

| 項目          | 説明                            |
|-------------|-------------------------------|
| 工場出荷時へのリセット | RESET/WPS ボタンを 10 秒間押下します。    |
| 2.4G WPS 機能 | RESET/WPS ボタンを 0 ～ 3 秒間押下します。 |
| 5G WPS 機能   | RESET/WPS ボタンを 3 ～ 6 秒間押下します。 |

**注意** WPS 機能は、WPS が有効化されている場合のみ動作します。デフォルトでは無効化されています。WPS を有効化すると、起動時に WPS プッシュ方式での接続認証が開始されます。詳細は「[第 6 章 詳細設定メニュー](#)」の「[WPS](#)」セクションを参照してください。

## 第 2 章 アクセスポイントの設置

- パッケージの内容
- システム要件
- ネットワーク接続前の準備
- 製品の設置

### パッケージの内容

---

ご購入いただいた製品の梱包箱を開け、同梱物を注意して取り出してください。以下のものが同梱されています。

- ・ 本体 x 1

万一、不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、ご購入いただきました代理店までご連絡ください。

### システム要件

---

本製品が動作するためには、以下のシステム条件が必要です。

- ・ 最新版のインターネットブラウザ（Google Chrome 等）
- ・ ネットワークへの接続
- ・ PoE 給電機器による給電

### ネットワーク接続前の準備

---

アクセスポイントの設置場所が性能に大きな影響を与えます。以下のガイドラインに従って本製品を設置してください。

#### 接続前のご注意

本製品の使用により、動作範囲内に無線でネットワークアクセスが可能になりますが、壁や天井など無線信号が通過する物体の数や厚さ、場所などにより、動作範囲が制約を受ける場合があります。一般的には、構造物の材質や設置場所での無線周波数のノイズが動作範囲に影響を与えます。

1. 本製品と他のネットワークデバイスとの間に入る壁や天井の数をできるだけ少なくしてください。一枚の壁や天井の影響により、本製品の動作範囲は 1 ～ 30 メートルの範囲となります。間に入る障害物の数を減らすようデバイスの位置を工夫してください。
2. ネットワークデバイス間の直線距離にご注意ください。厚さ 50 センチの壁を 45 度の角度で無線信号が通過する時、通り抜ける壁の厚みは約 1 メートルになります。2 度の角度で通過すると、通り抜ける厚みは 14 メートルになります。信号が障害物になるべく直角に通過するような位置にデバイスを設置し、電波を受信しやすくしてください。
3. 無線信号の通過性能は建築材料により異なります。金属製のドアやアルミの金具などは動作範囲を小さくする可能性があります。無線 LAN デバイスや無線 LAN アダプタ使用のコンピュータの設置は、信号がなるべく乾式壁が開放された戸口などを通るような位置に設置してください。
4. 周波数ノイズを発生する電気機器や家電製品からは、最低でも 1、2 メートル離してデバイスを設置してください。
5. 2.4GHz のコードレス電話または X-10（シーリングファン、ライト、およびホームセキュリティシステムなどの無線製品）を使っている場合、ご使用の無線接続は著しく性能が低下するか、または完全に切断される可能性があります。2.4GHz 電話の親機は可能な限りご使用の無線機器から離れていることを確認してください。電話を使用していない場合でも、親機は信号を送信します。

本アクセスポイントは、IEEE 802.3af 準拠の無線スイッチまたは弊社が承認する給電機器からの給電により動作します。

## 製品の設置

本製品は壁埋め込み型アクセスポイントとしてご利用いただけます。背面のイーサネットポート（RJ-45）に PoE 給電をともなったイーサネットケーブルを WAN 側から接続します。背面のクランプ式電話回線モジュラーには使用する電話回線を接続します。背面に接続したイーサネットケーブル（PoE）側、前面のイーサネットポートのどちらからも管理画面への接続が可能です。

**注意** 本製品の情報コンセントとしての設置の詳細については、施工業者にご確認ください。

### イーサネットケーブルの接続

1. PoE 給電を伴うイーサネットケーブルの一端を本製品背面の RJ-45 コネクタ（有線 WAN ポート）に接続します。もう一端は PoE 給電機能の動作するネットワーク機器（PoE インジェクタや PoE スイッチなど）に接続します。
2. イーサネットケーブルの一端を本製品前面の RJ-45 コネクタ（有線 LAN ポート）に接続し、もう一端をコンピュータ等に接続します。または、背面ポートと接続した PoE 給電ネットワーク機器とコンピュータ等を接続し、管理画面へアクセスする事も可能です。

### 電源の投入

1. PoE 給電ネットワーク機器の PoE 給電機能が有効であることを確認します。
2. 本製品の電源ボタンを「ON」にします。
3. 本製品に電源が供給されると、POWER / WLAN LED が点灯します。

### アクセスポイント設置後のネットワーク接続の例

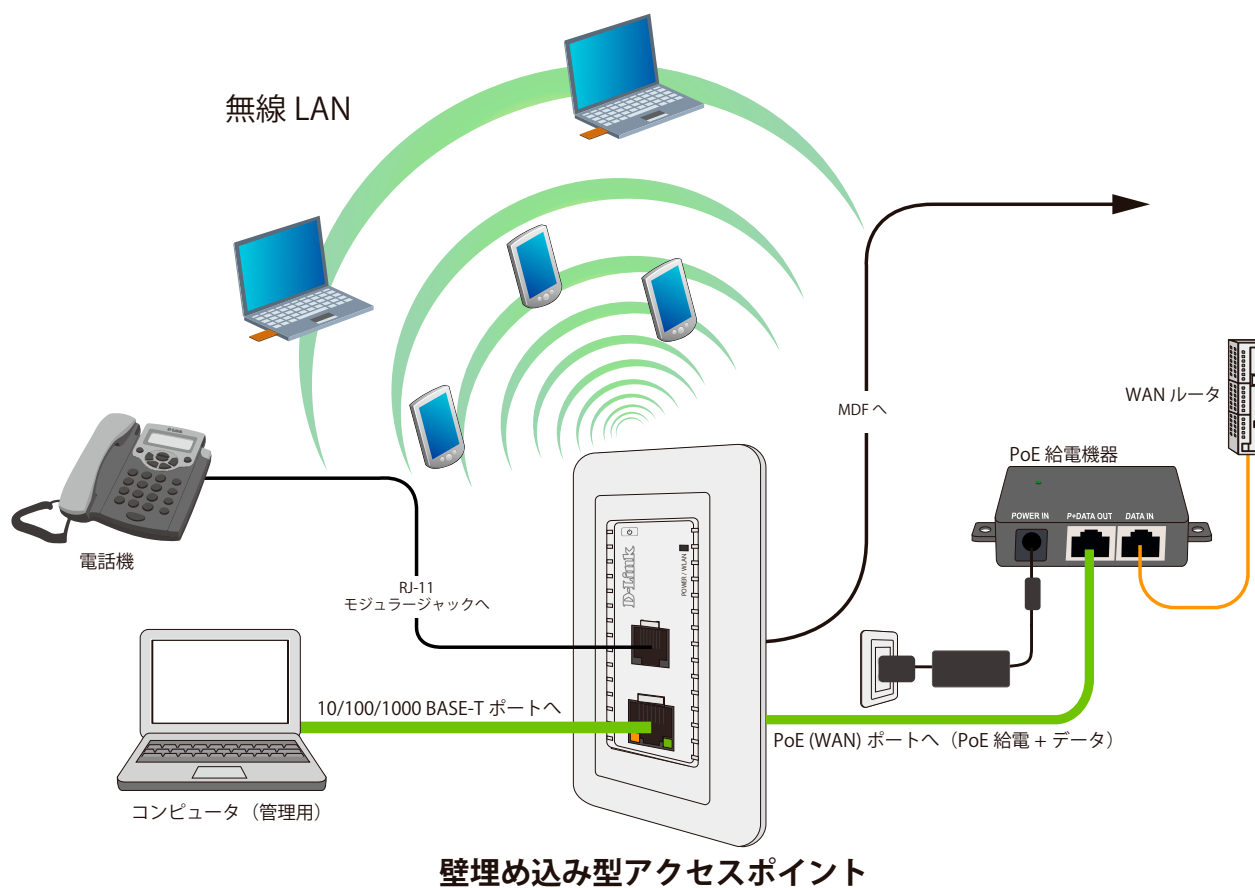


図 2-1 ネットワーク接続例

## 第3章 Web ベース設定ユーティリティ

### 設定メニューの操作

本製品の設定は UTP ケーブルで接続した PC から行います。ここでは、Windows 7 で動作する DAP-1880AC の画面で説明します。手順と画面は、他の Windows OS についても同じです。

1. プロキシサーバ機能を無効にします。Windowsの「スタート」-「コントロールパネル」-「インターネットオプション」-「接続」タブ-「LANの設定」の順にクリックし、「LANにプロキシサーバを使用する」のチェックを外します。
2. Web ブラウザ（Internet Explorer）を起動します。
3. 本製品の IP アドレスと HTTP ポートの番号をアドレスに入力し、「Enter」キーを押下します。初期値では「http://dlinkap」と入力します。手動で IP アドレスを指定した場合、設定用 PC そして本製品の IP アドレスが同じサブネット内であることに注意してください。



図 3-1 アドレス入力画面

4. 接続に成功すると、以下のログイン画面が表示されます。

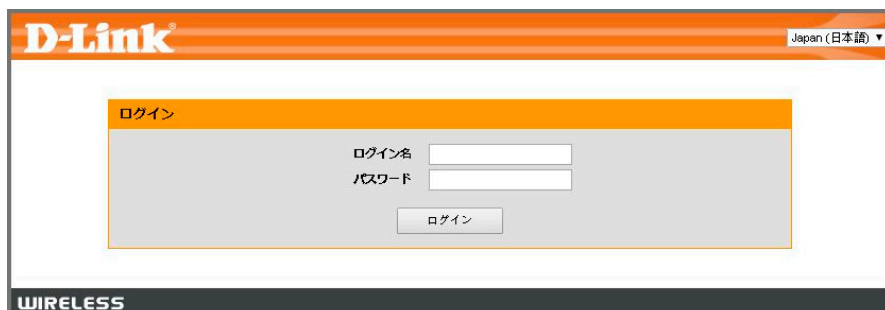


図 3-2 ログイン画面

5. 「ログイン名」「パスワード」ともに「admin」と入力します。「ログイン」ボタンをクリックします。

**注意** 本製品は初期値で「DHCP クライアント」として設定されています。有効な DHCP サーバから IP アドレスを割り振られる環境にある場合は「http://dlinkap」と入力し、ログインします。DHCP サーバが無効の環境の場合、「http://192.168.0.50」と入力しログインします。

**注意** 本製品の IP アドレスが初期値から変更されている場合は、変更後のアドレスを入力します。

**注意** Web 管理画面は「Japan（日本語）」で表示されます（初期値）。画面右上の言語項目で「English（英語）」に変更可能です。

6. ログインに成功すると以下の画面が表示されます。



図 3-3 システム情報画面（ホーム）

7. 設定画面へのアクセスは、上部「メニューバー」から設定分野を選択、左側から「サブメニュー」を選択し、設定画面を表示させます。



図 3-4 Web 画面構成

**注意** 設定画面で変更を行った場合は、「保存」ボタンを押して変更した設定を保存します。保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を「適用」する必要があります。

## 第 4 章 ホームメニュー

ホームではシステムの設定情報やクライアントの接続情報を表示します。また、保存した設定の適用 / 破棄を行います。  
以下は本章のサブメニューの説明です。必要に応じて、設定 / 変更 / 修正を行ってください。

| サブメニュー      | 説明                                   | 参照ページ              |
|-------------|--------------------------------------|--------------------|
| システム情報      | システム情報について表示します。                     | <a href="#">20</a> |
| ワイヤレスクライアント | 各帯域に接続しているワイヤレスクライアントと接続状況について表示します。 | <a href="#">24</a> |
| コンフィグレーション  | 各設定画面で保存した設定を適用 / 破棄します。             | <a href="#">26</a> |

### システム情報

システム情報では本製品の基本的な情報について表示します。

ホーム > システム情報の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。（ログイン後の初期画面です。）



図 4-1 システム情報画面（ホーム）

**注意** 設定内容によって表示される項目が異なります。

以下では本画面の各項目について記載します。

### NMS 情報

NMS についての情報が表示されます。NMS の設定によって表示 / 非表示が変わります。

| NMS 情報       |              |
|--------------|--------------|
| NMS システム名    |              |
| AC コントローラ ID | 000000000000 |

図 4-2 NMS 情報画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目           | 説明                               |
|--------------|----------------------------------|
| NMS システム名    | 本製品が属する NMS システム名を表示します。         |
| AC コントローラ ID | 本製品に割り当てられた AC コントローラ ID を表示します。 |

**注意** NMS 設定について詳しくは「第 8 章 NMS メニュー」を参照ください。

システム

本製品のシステムについての情報が表示されます。

システム

|             |                                               |
|-------------|-----------------------------------------------|
| モデル         | DAP-1880AC                                    |
| システム名       | dlinkA978                                     |
| ロケーション      |                                               |
| ローカル時間      | 2020/03/13 14:48:30                           |
| バージョン       | 1.21                                          |
| シリアルナンバ     | RFD12J1038111                                 |
| MACアドレス     | F4:8C:89:D4:A8:78                             |
| 管理PVID      | 1                                             |
| IPアドレス      | 192.168.1.1 <input type="button" value="更新"/> |
| デフォルトゲートウェイ | 192.168.1.1                                   |
| DNS         | 192.168.1.1 8.8.8.8 8.8.4.4                   |
| DHCPサーバ     | 192.168.1.1                                   |

図 4-3 システム画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目          | 説明                                                        |
|-------------|-----------------------------------------------------------|
| モデル         | 本製品のモデル名を表示します。                                           |
| システム名       | 本製品のシステム名について表示します。                                       |
| ロケーション      | 本製品のロケーション名（設置場所）を表示します。「ロケーション」は「管理 > ログイン設定」で設定可能です。    |
| ローカル時間      | 本製品の現在時間を表示します。「管理 > タイムゾーン」で設定可能です。                      |
| バージョン       | 本製品のファームウェアバージョンについて表示します。                                |
| シリアルナンバ     | 本製品のシリアルナンバについて表示します。                                     |
| MAC アドレス    | 本製品の MAC アドレスについて表示します。                                   |
| 管理 PVID     | 本製品の管理 PVID（VLAN ID）について表示します。「詳細設定 > VLAN」で設定可能です。       |
| IP アドレス     | 本製品の IP アドレスについて表示します。DHCP の場合「更新」をクリックすると IP アドレスを更新します。 |
| デフォルトゲートウェイ | 本製品のデフォルトゲートウェイについて表示します。                                 |
| DNS         | 本製品の DNS サーバについて表示します。                                    |
| DHCP サーバ    | 本製品の DHCP サーバについて表示します。                                   |

有線 WAN ポート設定

本製品の有線 WAN ポート設定についての情報が表示されます。

有線WANポート設定

| ポート    | ステータス                      | VLANモード / PVID  |
|--------|----------------------------|-----------------|
| 有線 WAN | 接続中 (1000Mbps Full-Duplex) | Untaggedポート / 1 |

図 4-4 有線 WAN ポート設定画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目             | 説明                                     |
|----------------|----------------------------------------|
| ステータス          | 本製品の有線 WAN ポートのステータスを表示します。            |
| VLAN モード /PVID | 有線 WAN ポートの「VLAN モード」と「PVID」について表示します。 |



有線 LAN ポート設定

本製品の有線 LAN ポート設定についての情報が表示されます。

| 有線LANポート設定 |           |                 |
|------------|-----------|-----------------|
| ポート        | ステータス     | VLANモード / PVID  |
| 有線 LAN     | 未接続 (---) | Untaggedポート / 1 |

図 4-5 有線 LAN ポート設定画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目             | 説明                                     |
|----------------|----------------------------------------|
| ステータス          | 本製品の有線 LAN ポートのステータスを表示します。            |
| VLAN モード /PVID | 有線 LAN ポートの「VLAN モード」と「PVID」について表示します。 |

ワイヤレス 2.4GHz

本製品のワイヤレス 2.4GHz についての情報が表示されます。

| ワイヤレス2.4GHz |                   |
|-------------|-------------------|
| ステータス       | 有効                |
| MACアドレス     | 78:8C:8D:04:00:00 |
| チャンネル       | Ch 13 / Ch 9 (自動) |
| 送信出力        | 100%              |

図 4-6 ワイヤレス 2.4GHz 画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目       | 説明                           |
|----------|------------------------------|
| ステータス    | 2.4GHz 帯のステータスについて表示します。     |
| MAC アドレス | 2.4GHz 帯の MAC アドレスについて表示します。 |
| チャンネル    | 2.4GHz 帯のチャンネルについて表示します。     |
| 送信出力     | 2.4GHz 帯の送信出力について表示します。      |

ワイヤレス 2.4GHz /SSID

本製品のワイヤレス 2.4GHz 帯の SSID についての情報が表示されます。

| ワイヤレス2.4GHz SSID |      |        |      |                   |
|------------------|------|--------|------|-------------------|
| SSID             | 認証方式 | 暗号化タイプ | PVID | ワイヤレス<br>アイソレーション |
| dlink50CA        | 認証なし | 暗号化なし  | 1    | 無効                |

図 4-7 ワイヤレス 2.4GHz /SSID 画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目            | 説明                                    |
|---------------|---------------------------------------|
| SSID          | 2.4GHz 帯の SSID について表示します。             |
| 認証方式          | 当該 SSID の認証方式について表示します。               |
| 暗号化タイプ        | 当該 SSID の暗号化タイプについて表示します。             |
| PVID          | 当該 SSID の PVID（VLAN ID）について表示します。     |
| ワイヤレスアイソレーション | 当該 SSID のワイヤレスアイソレーション機能の有無について表示します。 |

## ワイヤレス 5GHz

本製品のワイヤレス 5GHz についての情報が表示されます。

| ワイヤレス5GHz |                               |
|-----------|-------------------------------|
| ステータス     | 有効                            |
| MACアドレス   | 9C:30:80:00:00:00             |
| チャンネル     | Ch 36 / Ch 40 / Ch 44 / Ch 48 |
| 送信出力      | 100%                          |

図 4-8 ワイヤレス 5GHz 画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目       | 説明                         |
|----------|----------------------------|
| ステータス    | 5GHz 帯のステータスについて表示します。     |
| MAC アドレス | 5GHz 帯の MAC アドレスについて表示します。 |
| チャンネル    | 5GHz 帯のチャンネルについて表示します。     |
| 送信出力     | 5GHz 帯の送信出力について表示します。      |

## ワイヤレス 5GHz /SSID

本製品のワイヤレス 5GHz 帯の SSID についての情報が表示されます。

| ワイヤレス5GHz SSID |      |        |      |                   |
|----------------|------|--------|------|-------------------|
| SSID           | 認証方式 | 暗号化タイプ | PVID | ワイヤレス<br>アイソレーション |
| dlink50CA_5G   | 認証なし | 暗号化なし  | 1    | 無効                |

図 4-9 ワイヤレス 5GHz /SSID 画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目            | 説明                                    |
|---------------|---------------------------------------|
| SSID          | 5GHz 帯の SSID について表示します。               |
| 認証方式          | 当該 SSID の認証方式について表示します。               |
| 暗号化タイプ        | 当該 SSID の暗号化タイプについて表示します。             |
| PVID          | 当該 SSID の PVID（VLAN ID）について表示します。     |
| ワイヤレスアイソレーション | 当該 SSID のワイヤレスアイソレーション機能の有無について表示します。 |

# ワイヤレスクライアント

ワイヤレスクライアントでは本製品の各帯域に接続しているワイヤレスクライアントと接続状況について表示します。

ホーム> ワイヤレスクライアントの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

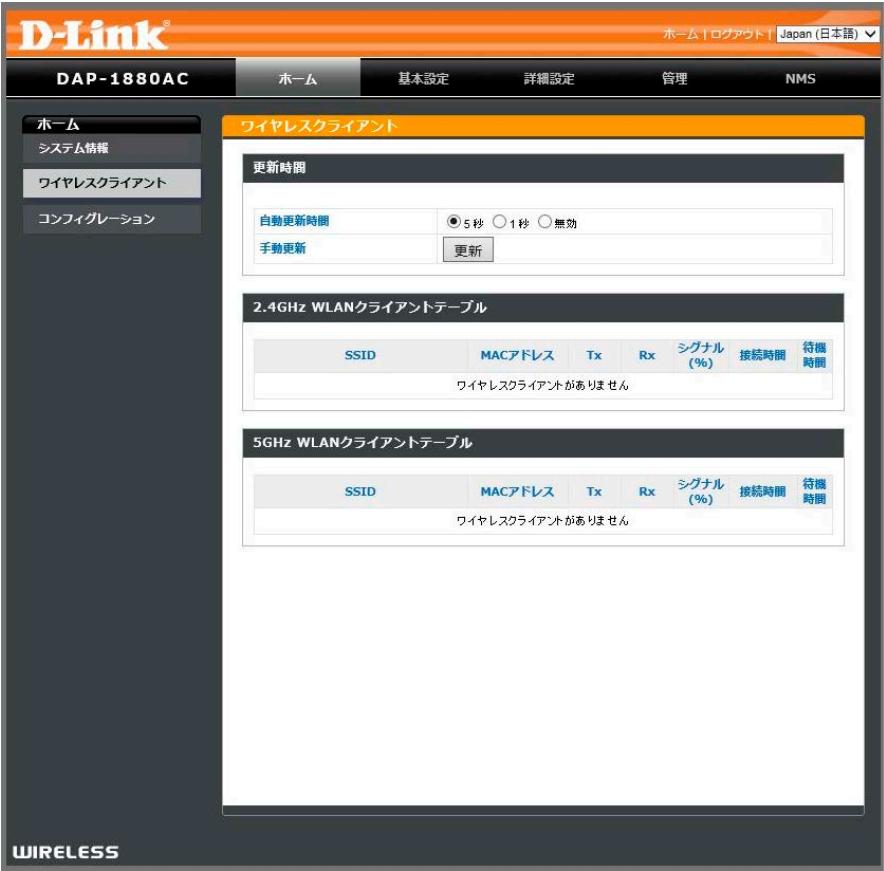


図 4-10   ワイヤレスクライアント（ホーム）

以下では本画面の各項目について記載します。

## 更新時間

ワイヤレスクライアントの接続状況についての更新時間と手動更新について指定します。



図 4-11   更新時間画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目     | 説明                                                                   |
|--------|----------------------------------------------------------------------|
| 自動更新時間 | 接続状況について自動的に更新する間隔を指定します。「5 秒」「1 秒」「無効」から指定します。「無効」に指定すると自動更新を行いません。 |
| 手動更新   | 「更新」をクリックし接続状況について手動で更新します。                                          |

## 2.4GHz WLAN クライアントテーブル

2.4GHz 帯の 無線 LAN クライアントテーブルについての情報が表示されます。

| 2.4GHz WLANクライアントテーブル |      |         |    |    |          |      |      |
|-----------------------|------|---------|----|----|----------|------|------|
|                       | SSID | MACアドレス | Tx | Rx | シグナル (%) | 接続時間 | 待機時間 |
| ワイヤレスクライアントがありません     |      |         |    |    |          |      |      |

図 4-12 2.4GHz WLAN クライアントテーブル画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目       | 説明                                        |
|----------|-------------------------------------------|
| SSID     | 当該クライアントが接続している 2.4GHz 帯の SSID について表示します。 |
| MAC アドレス | 当該クライアントの MAC アドレスについて表示します。              |
| Tx       | 当該クライアントから送信されたパケット総量について表示します。           |
| Rx       | 当該クライアントが受信したパケット総量について表示します。             |
| シグナル     | 当該クライアントの無線強度について表示します。                   |
| 接続時間     | 当該クライアントの接続時間について表示します。                   |
| 待機時間     | 当該クライアントがアイドル状態だった時間について表示します。            |

## 5GHz WLAN クライアントテーブル

5GHz 帯の 無線 LAN クライアントテーブルについての情報が表示されます。

| 5GHz WLANクライアントテーブル |      |         |    |    |          |      |      |
|---------------------|------|---------|----|----|----------|------|------|
|                     | SSID | MACアドレス | Tx | Rx | シグナル (%) | 接続時間 | 待機時間 |
| ワイヤレスクライアントがありません   |      |         |    |    |          |      |      |

図 4-13 5GHz WLAN クライアントテーブル画面（ホーム）

本画面には以下の項目があります。

| 項目       | 説明                                      |
|----------|-----------------------------------------|
| SSID     | 当該クライアントが接続している 5GHz 帯の SSID について表示します。 |
| MAC アドレス | 当該クライアントの MAC アドレスについて表示します。            |
| Tx       | 当該クライアントから送信されたパケット総量について表示します。         |
| Rx       | 当該クライアントが受信したパケット総量について表示します。           |
| シグナル     | 当該クライアントの無線強度について表示します。                 |
| 接続時間     | 当該クライアントの接続時間について表示します。                 |
| 待機時間     | 当該クライアントがアイドル状態だった時間について表示します。          |

## コンフィグレーション

コンフィグレーションでは各画面で保存した設定を適用します。

ホーム > コンフィグレーションの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 4-14 コンフィグレーション（ホーム）

以下では本画面の各項目について記載します。

### 保存した設定を適用

各画面で保存した設定を適用します。



図 4-15 保存した設定を適用（ホーム）

「適用」をクリックすると、保存した全ての設定が適用されます。

### 保存した設定を破棄

各画面で保存した設定を破棄します。



図 4-16 保存した設定を破棄（ホーム）

「破棄」をクリックすると、保存した全ての設定が破棄されます。

## 第5章 基本設定メニュー

基本設定では無線 LAN/ 有線 LAN についての基本的な設定を行います。

以下は本章のサブメニューの説明です。必要に応じて、設定 / 変更 / 修正を行ってください。

| サブメニュー    | 説明                       | 参照ページ              |
|-----------|--------------------------|--------------------|
| ワイヤレス     | 無線 LAN についての基本的な設定を行います。 | <a href="#">27</a> |
| LAN（基本設定） | LAN（有線）についての基本的な設定を行います。 | <a href="#">29</a> |

### ワイヤレス

ワイヤレスでは本製品の無線 LAN についての基本的な設定を行います。

基本設定 > ワイヤレスの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

The screenshot shows the D-Link DAP-1880AC web interface. The top navigation bar includes 'ホーム' (Home), '基本設定' (Basic Settings), '詳細設定' (Advanced Settings), '管理' (Management), and 'NMS'. The left sidebar has '基本設定' (Basic Settings) with sub-items 'ワイヤレス' (Wireless) and 'LAN'. The main content area is titled 'ワイヤレス' (Wireless) and contains the following settings:

- ワイヤレス周波数帯: 2.4GHz
- ワイヤレス: ☒ 有効 ☐ 無効
- 周波数帯: 11b/g/n
- SSID: dlink7A38 (1-32 文字列)
- SSIDステルス: 無効
- URLリダイレクト:  ☐
- Web認証: なし
- 自動チャンネル: ☒ 有効 ☐ 無効
- 自動チャンネル更新: 1日 ☐ クライアントが接続されている場合でもチャンネルを変更
- チャンネル帯域: Auto 40/20 MHz
- 認証方式: 認証なし

At the bottom right of the settings area are buttons for '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel).

図 5-1 ワイヤレス画面（基本設定）

**注意** 設定内容によって表示される項目が異なります。

## 基本設定メニュー

以下では本画面の各項目について記載します。

本画面には以下の項目があります。

| 項目            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ワイヤレス周波数帯     | 設定する無線周波数帯を選択します。「2.4GHz」「5GHz」から指定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| ワイヤレス         | 無線機能を「有効」「無効」に指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 周波数帯          | 周波数帯と組み合わせを指定します。2.4GHz 選択時は「11b」「11g」「11n」「11b/g」「11g/n」「11b/g/n」から選択可能です。5GHz 選択時は「11a」「11n」「11a/n」「11n/ac」「11a/n/ac」から選択可能です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| SSID          | 「2.4GHz」「5GHz」それぞれの SSID を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| SSID ステルス     | 当該 SSID の不可視表示について「有効」（不可視）「無効」（可視）を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| URL リダイレクト    | チェックを入れて、ユーザが当該 SSID にアクセスする際に表示する URL を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Web 認証        | URL リダイレクト有効時のアクセス認証方式を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>なし - Web 認証を行いません。</li><li>ユーザ/パスワード<ul style="list-style-type: none"><li>タイトル - リダイレクトされた画面のタイトルを指定します。</li><li>ユーザ名 - ログインする際のユーザ名を指定します。</li><li>パスワード - ログインする際のパスワードを指定します。</li></ul></li><li>パスコード<ul style="list-style-type: none"><li>タイトル - リダイレクトされた画面のタイトルを指定します。</li><li>パスコード - ログインする際のパスコードを指定します。</li><li>接続時間制限 - 接続時間制限を設定します。</li><li>パスコード有効期限 - パスコードの有効期限を設定します。</li><li>同時許容接続数 - 同時許容接続数を設定します。</li></ul></li></ul>                                                                                                                                                               |
| 自動チャンネル       | 自動チャンネル設定を「有効」「無効」から指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 自動チャンネル間隔     | 自動チャンネル設定の間隔を指定します。「30 分」「1 時間」「2 時間」「半日」「1 日」「2 日」から指定できます。「クライアントが接続されている場合でもチャンネルを変更」にチェックを入れると、チャンネル変更時に接続中のクライアントは切断されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| チャンネル         | 自動チャンネル機能を使用しない場合、手動でチャンネルを指定します。5GHz と 2.4GHz でチャンネルの内容は異なります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| チャンネル帯域       | チャンネル帯域を指定します。<br>2.4GHz の場合「20MHz」「Auto 40/20MHz」から指定します。<br>5GHz の場合「20MHz」「Auto 40/20MHz」「Auto 80/40/20MHz」から指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 認証方式          | 認証方法を「認証なし」「WEP」「WPA-PSK」「WPA-EAP」から指定します。選択した認証方式により設定項目が異なります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| - WEP 選択時     | <ul style="list-style-type: none"><li>キー長 - 「64 ビット」または「128 ビット」を選択します。</li><li>キータイプ - 「16 進数※」または「ASCII ※※」を選択します。</li><li>デフォルトキー - デフォルト（初期値）で使用するキーをキー 1-4 から指定します。</li><li>暗号化キー 1 - 4 - 1 番目から 4 番目までのキーを入力します。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| - WPA-PSK 選択時 | <ul style="list-style-type: none"><li>WPA タイプ - 「WPA2/WPA3 混在モード -PSK」「WPA3 のみ」「WPA/WPA2 混在モード -PSK」「WPA2 のみ」「WPA のみ」から指定します。</li><li>暗号化タイプ - 「TKIP/AES 混在モード」「TKIP」「AES」から指定します。<br/>「WPA タイプ」で「WPA2/WAP3 混在モード -PSK」「WPA3 のみ」「WPA2 のみ」を指定した場合、「AES」のみ選択可能です。<br/>「WPA タイプ」で「WPA/WPA2 混在モード -PSK」を指定した場合、「TKIP/AES 混在モード」「AES」のみ選択可能です。</li><li>キーキャッシュ保持時間 - キーのキャッシュを保持する時間を指定します。初期値は 3600 秒です。</li><li>事前共有キータイプ - 「パスフレーズ」「16 進数（64 文字列）」から指定します。</li><li>事前共有キー - 事前共有キーを指定します。事前共有キーの先頭に「0」を使用することはできません。</li></ul>                                                                                                                                                  |
| - WPA-EAP 選択時 | <ul style="list-style-type: none"><li>WPA タイプ - 「WPA/WPA2 混在モード -EAP」「WPA2-EAP」「WPA-EAP」から指定します。</li><li>暗号化タイプ - 「TKIP/AES 混在モード」「TKIP」「AES」から指定します。<br/>「WPA タイプ」で「WPA2-EAP」を指定した場合、「AES」のみ選択可能です。<br/>「WPA タイプ」で「WPA/WPA2 混在モード -EAP」を指定した場合、「TKIP/AES 混在モード」「AES」のみ選択可能です。</li><li>キーキャッシュ保持時間 - キーのキャッシュを保持する時間を指定します。初期値は 3600 秒です。</li><li>RADIUS サーバ（2.4GHz/5GHz） - 外部の RADIUS サーバ設定を行います。</li><li>「プライマリ/セカンダリ RADIUS サーバ」<ul style="list-style-type: none"><li>RADIUS サーバ - RADIUS サーバの IP アドレスを指定します。</li><li>認証ポート - RADIUS サーバの認証に使用するポート番号を入力します。</li><li>共有シークレット - RADIUS シークレット（パスワード）を入力します。</li><li>セッションタイムアウト - タイムアウトするまでの時間を指定します。</li></ul></li></ul> |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。

保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

※「16 進数」は、0～9、A～F までの半角英数字を入力します。

※※「ASCII」（アスキー文字列）は、半角英数字を入力します。

## LAN（基本設定）

LAN では本アクセスポイントの Local Area Network (LAN) について設定します。有線 WAN ポート（PoE）に接続したルータ側から自動的に IP アドレスを取得する DHCP 設定、または手動でアクセスポイントに IP アドレスを指定するなどの設定を行うことが可能です。

基本設定 > LAN の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

図 5-2 LAN（基本設定）

以下では本画面の各項目について記載します。

### LAN 側 IP アドレス

アクセスポイントの LAN 側 IP アドレスについて指定します。

図 5-3 LAN 側 IP アドレス画面（基本設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目          | 説明                                                                                           |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| IP アドレス割当   | 「固定 IP アドレス」「DHCP クライアント」から指定します。                                                            |
| IP アドレス     | 「固定 IP アドレス」を指定した場合、アクセスポイントの IP アドレスを手動で指定します。                                              |
| サブネットマスク    | 「固定 IP アドレス」を指定した場合、アクセスポイントのサブネットマスクを手動で指定します。                                              |
| デフォルトゲートウェイ | 「DHCP クライアント」を指定した場合、「ユーザ定義」「DHCP から」から指定します。「ユーザ定義」を指定した場合、表示される項目にユーザ定義のデフォルトゲートウェイを指定します。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。

保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。



LAN 側 DNS サーバ

アクセスポイントの LAN 側 DNS サーバについて指定します。

LAN側DNSサーバ

|           |         |  |
|-----------|---------|--|
| プライマリアドレス | ユーザ定義 ▼ |  |
| セカンダリアドレス | ユーザ定義 ▼ |  |

図 5-4 LAN 側 DNS サーバ画面（基本設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目        | 説明                                                                               |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------|
| プライマリアドレス | 「IP アドレス割当」で「DHCP クライアント」を指定した場合、「LAN 側 DNS サーバ」を指定可能です。                         |
| セカンダリアドレス | 「ユーザ定義」または「DHCP から」から指定します。「ユーザ定義」を指定した場合、表示される項目にユーザ定義のプライマリ / セカンダリアドレスを指定します。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

LAN 側詳細設定

アクセスポイントの LAN 側について詳細に設定します。

LAN側詳細設定

|            |                                                              |
|------------|--------------------------------------------------------------|
| URLログイン    | dlinkap (2-30 文字列) <input checked="" type="checkbox"/>       |
| URLリダイレクト  | <input type="text"/> <input checked="" type="checkbox"/>     |
| Web認証      | ユーザ名/パスワード ▼                                                 |
| タイトル       | <input type="text"/>                                         |
| ユーザ名       | <input type="text"/> (4-16 文字列)                              |
| パスワード      | <input type="text"/> (4-32 文字列)                              |
| IGMPスヌーピング | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |

図 5-5 LAN 側詳細設定画面（基本設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| URL ログイン    | Web GUI にアクセスする際の IP アドレスの代わりに URL を指定することが可能です。(例：http://dap1880)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| URL リダイレクト  | ログイン時に表示する URL を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Web 認証      | URL リダイレクト有効時のアクセス認証方式を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>なし - Web 認証を行いません。</li><li>ユーザ / パスワード<ul style="list-style-type: none"><li>タイトル - リダイレクトされた画面のタイトルを指定します。</li><li>ユーザ名 - ログインする際のユーザ名を指定します。</li><li>パスワード - ログインする際のパスワードを指定します。</li></ul></li><li>パスコード<ul style="list-style-type: none"><li>タイトル - リダイレクトされた画面のタイトルを指定します。</li><li>パスコード - ログインする際のパスコードを指定します。</li><li>接続時間制限 - 接続時間制限を設定します。</li><li>パスコード有効期限 - パスコードの有効期限を設定します。</li><li>同時許容接続数 - 同時許容接続数を設定します。</li></ul></li></ul> |
| IGMP スヌーピング | チェックを入れ IGMP スヌーピングを有効にします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

## 第 6 章 詳細設定メニュー

詳細設定では本アクセスポイント無線 LAN についての詳細な設定を行います。  
以下は本章のサブメニューの説明です。必要に応じて、設定 / 変更 / 修正を行ってください。

| サブメニュー   | 説明                                   | 参照ページ              |
|----------|--------------------------------------|--------------------|
| パフォーマンス  | 各無線帯域において無線機能の詳細な設定を行います。            | <a href="#">31</a> |
| マルチ SSID | 各帯域において 4 つまで設定可能なマルチ SSID の設定を行います。 | <a href="#">33</a> |
| VLAN     | VLAN の設定を行います。                       | <a href="#">35</a> |
| WPS      | WPS の設定を行います。                        | <a href="#">37</a> |
| MAC フィルタ | MAC フィルタリング機能についての設定を行います。           | <a href="#">40</a> |

### パフォーマンス

パフォーマンスでは各無線帯域において無線機能の詳細な設定を行います。スケジュールの設定を行うことも可能です。

詳細設定 > パフォーマンスの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

図 6-1 パフォーマンス画面（詳細設定）

**注意** 設定内容によって表示される項目が異なります。

以下では本画面の各項目について記載します。

| 項目        | 説明                                                                                                                                             |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ワイヤレス周波数帯 | 設定する無線周波数帯を選択します。「2.4GHz」「5GHz」から指定できます。                                                                                                       |
| プリアンプルタイプ | プリアンプルタイプを「ショート」「ロング」から指定します。<br>プリアンプルタイプは 802.11 規格で定義された、ローミングしている無線アダプタとアクセスポイント間の通信の「CRC ブロック」(Cyclic Redundancy Check) の長さです。初期値はショートです。 |
| ガードインターバル | ガードインターバルを指定します。「ショート GI」「ロング GI」から指定します。ショートの方がパフォーマンスは改善されます。                                                                                |
| バンドステアリング | マルチ SSID を有効にしている場合、本設定が有効になります。「5Ghz 優先」「2.4Ghz 優先」から選択します。                                                                                   |
| DTIM 期間   | DTIM (Delivery Traffic Indication Message) の間隔を設定します。<br>DTIM とは、省電力モードの無線クライアントに対して、パケットが送信待ちであることを伝えるメッセージです。                                |
| RTS しきい値  | RTS しきい値を指定します。初期値は「2347」です。                                                                                                                   |

| 項目            | 説明                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| フラグメントしきい値    | フラグメントしきい値を指定します。初期値は「2346」です。                                                                                                                                                                                      |
| マルチキャストレート    | マルチキャストレートを選択します。「自動」に指定すると自動的にレートは選択されます。                                                                                                                                                                          |
| TX パワー        | 無線の送信電力を設定します。「100%」「75%」「50%」「25%」から指定します。<br>送信電力を調整することで、干渉による無線適用範囲の重複を削減することができます。<br>例：無線適用範囲がエリアの半分をカバーしている場合は、50% を選択します。                                                                                   |
| ビーコン間隔        | ビーコンを送信する間隔を設定します。初期値は 100( 単位：ミリ秒 ) です。<br>ビーコンとはアクセスポイントがネットワークと同期するために送信するパケットです。                                                                                                                                |
| ステーション待機終了時間  | ステーションがアクティブか否かを確認するために、アクセスポイントから無線クライアントへ送信するキープアライブの、メッセージを送る時間の間隔を指定します。                                                                                                                                        |
| ワイヤレスアイソレーション | 無線クライアントのアイソレーション機能を「無効」「STA セパレータ」(アクセスポイントの孤立化)「SSID セパレータ」(SSID の孤立化) から指定します。「STA セパレータ」はアクセスポイントに接続しているクライアント同士、「SSID セパレータ」は SSID 毎に、お互いの通信を禁止します。通常クライアントのユーザ名 / パスワードを狙った攻撃から守るために、公共のホットスポットや企業内環境で使用されます。 |
| IGMP スヌーピング   | IGMP ( Internet Group Management Protocol ) スヌーピングを有効または無効にします。<br>IGMP スヌーピング機能を利用すると、アクセスポイントはルータと IGMP ホスト間で送信される IGMP クエリと IGMP レポートを認識するようになります。本機能が有効な場合、アクセスポイントを通過した IGMP メッセージに基づき、ホストにマルチキャストパケットを送信します。  |
| HT 20/40 共存   | 20/40MHz 通信の同時利用を有効または無効にします。                                                                                                                                                                                       |
| ロードバランシング     | SSID に接続する無線クライアントの数を制限します。最大 32 です。                                                                                                                                                                                |

設定した内容を有効にするには「適用」をクリックします。破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

2.4GHz/5GHz ワイヤレススケジュール

設定したスケジュール期間のみ、ワイヤレスネットワークを有効化します。

2.4GHz ワイヤレススケジュール

設定したスケジュール期間のみ、ワイヤレスネットワークを有効化

☐ ワイヤレススケジュール

| 有効                       | 曜日  | 開始          | 終了          |
|--------------------------|-----|-------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> | 日 ▼ | 00 ▼ : 00 ▼ | 00 ▼ : 00 ▼ |
| <input type="checkbox"/> | 日 ▼ | 00 ▼ : 00 ▼ | 00 ▼ : 00 ▼ |
| <input type="checkbox"/> | 日 ▼ | 00 ▼ : 00 ▼ | 00 ▼ : 00 ▼ |
| <input type="checkbox"/> | 日 ▼ | 00 ▼ : 00 ▼ | 00 ▼ : 00 ▼ |
| <input type="checkbox"/> | 日 ▼ | 00 ▼ : 00 ▼ | 00 ▼ : 00 ▼ |

図 6-2    ワイヤレススケジュール（詳細設定）

**注意** 5 GHz/2.4GH によってタイトルの表示は違いますが、設定内容は同じです。各帯域に設定してください。

ワイヤレススケジュール設定方法

- 1. 「ワイヤレススケジュール」にチェックを入れスケジュールを有効にします。
- 2. 編集、設定するスケジュールの横の「有効」にチェックを入れます。
- 3. ドロップダウンメニューを使用して「曜日 / 開始時間 / 終了時間」を指定します。
- 4. 設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

**注意** この機能は、日付と時間を設定するまで動作させることはできません。

## マルチ SSID

各帯域において 4 つまで設定可能なマルチ SSID の設定を行います。

詳細設定 > マルチ SSID の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

図 6-3 マルチ SSID（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ワイヤレス周波数帯  | 設定する無線周波数帯を選択します。「2.4GHz」「5GHz」から指定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| マルチ SSID 数 | 有効にする SSID の数を指定します。各帯域で 1-4 個までの SSID を指定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| SSID       | 設定する SSID を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| SSID1-4    | 「SSID」で選択した SSID が表示されます。「SSID 名」の編集、「PVID」の設定を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| SSID ステルス  | 指定の SSID の可視化 / 非可視化（SSID ステルス）を指定します。「有効」にするとネットワーク内のクライアントから確認することができなくなります。手動で SSID 名と情報を指定して SSID に接続する必要があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| URL リダイレクト | チェックを入れて、ユーザが当該 SSID にアクセスする際に表示する URL を指定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Web 認証     | URL リダイレクト有効時のアクセス認証方式を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>なし - Web 認証を行いません。</li> <li>ユーザ / パスワード <ul style="list-style-type: none"> <li>タイトル - リダイレクトされた画面のタイトルを指定します。</li> <li>ユーザ名 - ログインする際のユーザ名を指定します。</li> <li>パスワード - ログインする際のパスワードを指定します。</li> </ul> </li> <li>パスコード <ul style="list-style-type: none"> <li>タイトル - リダイレクトされた画面のタイトルを指定します。</li> <li>パスコード - ログインする際のパスコードを指定します。</li> <li>接続時間制限 - 接続時間制限を設定します。</li> <li>パスコード有効期限 - パスコードの有効期限を設定します。</li> <li>同時許容接続数 - 同時許容接続数を設定します。</li> </ul> </li> </ul> |
| 認証方式       | SSID の認証方法を「WEP」「WPA-PSK」「WPA-EAP」から指定します。選択した認証方式により設定項目が異なります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| - WEP 選択時  | <ul style="list-style-type: none"> <li>キー長 - 「64 ビット」または「128 ビット」を選択します。</li> <li>キータイプ - 「16 進数※」または「ASCII ※※」を選択します。</li> <li>デフォルトキー - デフォルト（初期値）で使用するキーをキー 1-4 から指定します。</li> <li>暗号化キー 1-4-1 番目から 4 番目までのキーを入力します。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

| 項目            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| - WPA-PSK 選択時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>WPA タイプ - 「WPA2/WPA3 混在モード -PSK」「WPA3 のみ」「WPA/WPA2 混在モード -PSK」「WPA2 のみ」「WPA のみ」から指定します。</li> <li>暗号化タイプ - 「TKIP/AES 混在モード」「TKIP」「AES」から指定します。<br/>「WPA タイプ」で「WPA2/WAP3 混在モード -PSK」「WPA3 のみ」「WPA2 のみ」を指定した場合、「AES」のみ選択可能です。<br/>「WPA タイプ」で「WPA/WPA2 混在モード -PSK」を指定した場合、「TKIP/AES 混在モード」「AES」のみ選択可能です。</li> <li>キーキャッシュ保持時間 - キーのキャッシュを保持する時間を指定します。初期値は 3600 秒です。</li> <li>事前共有キータイプ - 「パスフレーズ (8-63 文字列)」「16 進数 (64 文字列)」から指定します。</li> <li>事前共有キー - 事前共有キーを指定します。事前共有キーの先頭に「0」を使用することはできません。</li> </ul>                                                                                                                                                 |
| - WPA-EAP 選択時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>WPA タイプ - 「WPA/WPA2 混在モード -EAP」「WPA2-EAP」「WPA-EAP」から指定します。</li> <li>暗号化タイプ - 「TKIP/AES 混在モード」「TKIP」「AES」から指定します。<br/>「WPA タイプ」で「WPA2-EAP」を指定した場合、「AES」のみ選択可能です。<br/>「WPA タイプ」で「WPA/WPA2 混在モード -EAP」を指定した場合、「TKIP/AES 混在モード」「AES」のみ選択可能です。</li> <li>キーキャッシュ保持時間 - キーのキャッシュを保持する時間を指定します。初期値は 3600 秒です。</li> <li>RADIUS サーバ (2.4GHz/5GHz) - 外部の RADIUS サーバ設定を行います。</li> <li>「プライマリ / セカンダリ RADIUS サーバ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>RADIUS サーバ - RADIUS サーバの IP アドレスを指定します。</li> <li>認証ポート - RADIUS サーバの認証に使用するポート番号を入力します</li> <li>共有シークレット - RADIUS シークレット (パスワード) を入力します。</li> <li>セッションタイムアウト - タイムアウトするまでの時間を指定します。</li> </ul> </li> </ul> |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。

保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

※「16 進数」は、0～9、A～F までの半角英数字を入力します。

※※「ASCII」(アスキー文字列)は、半角英数字を入力します。

## VLAN

VLAN の設定を行います。

詳細設定 > VLAN の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

図 6-4 VLAN (詳細設定)

### VLAN インタフェース

各インタフェースにおける VLAN の設定を行います。ユーザを LAN 内に仮想的にまとめる、または孤立させます。VLAN ID (PVID) は 1-4094 まで指定可能です。

| ポート                              | VLANモード       | PVID       |
|----------------------------------|---------------|------------|
| 有線WAN                            | Untaggedポート ▼ | 1 (1-4094) |
| 有線LAN                            | Untaggedポート ▼ | 1 (1-4094) |
| ワイヤレス2.4GHz<br>SSID [dlink7A38]  | Untaggedポート   | 1 (1-4094) |
| ワイヤレス5GHz<br>SSID [dlink7A38_5G] | Untaggedポート   | 1 (1-4094) |

図 6-5 VLAN インタフェース (詳細設定)

本画面には以下の項目があります。

| 項目         | 説明                                                                                                                                                                                      |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 有線 WAN ポート | 当該インタフェースの「VLAN モード」「PVID」について指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VLAN モード - VLAN モードを「Tagged ポート」「Untagged ポート」から指定します。</li> <li>PVID - VLAN ID を 1-4094 から指定します。</li> </ul> |
| 有線 LAN ポート | 当該インタフェースの「VLAN モード」「PVID」について指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>VLAN モード - VLAN モードを「Tagged ポート」「Untagged ポート」から指定します。</li> <li>PVID - VLAN ID を 1-4094 から指定します。</li> </ul> |

詳細設定メニュー

| 項目           | 説明                                                                                                                                                                |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ワイヤレス 2.4GHz | 当該インタフェースの「VLAN モード」「PVID」について指定 / 表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• VLAN モード - VLAN モードを表示します。</li><li>• PVID - VLAN ID を 1-4094 から指定します。</li></ul> |
| ワイヤレス 5GHz   | 当該インタフェースの「VLAN モード」「PVID」について指定 / 表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• VLAN モード - VLAN モードを表示します。</li><li>• PVID - VLAN ID を 1-4094 から指定します。</li></ul> |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

管理 VLAN

管理 VLAN の設定を行います。VLAN ID は 1-4094 まで指定可能です。

管理VLAN

PVID

1

(1-4094)

図 6-6 管理 VLAN（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目   | 説明                                                                            |
|------|-------------------------------------------------------------------------------|
| PVID | PVID（VLAN ID）を 1-4094 から指定 / 表示します。<br>同じ VLAN 内のホストのみがアクセスポイントの管理を行うことができます。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。



## WPS

### WPS

WPS の設定を行います。

「Wi-Fi Protected Setup」(WPS) は WPS 対応機器間の接続の構築に使用するシンプルな手段です。WPS は対応機器の WPS ボタンを押すか、機器のインタフェースで設定するなどして有効、起動することが可能です。二つの機器において WPS が有効であり、時間や設定などの条件が整えば自動的に機器は接続します。「PIN による WPS」は WPS のバリエーションの一つであり、お互いの機器間の認証用に PIN コードを使用し接続します。

**注意** 製品前面上部の「RESET ボタン」の押下により、各帯域の WPS を作動させることも可能です。「2.4GHz WPS」の場合、0～3 秒、「5GHz WPS」の場合、3～6 秒押下することで、各帯域の WPS が作動します。10 秒以上「RESET ボタン」を押下し続けると、製品がリセットされてしまうので、ご注意ください。

詳細設定 > WPS の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

The screenshot shows the D-Link DAP-1880AC configuration interface. The 'WPS' tab is selected in the left sidebar. The main content area is titled 'WPS' and contains several sections:

- WPS Settings:** Two rows for '2.4GHz WPS' and '5GHz WPS', each with a checkbox labeled '有効' (Enabled) which is currently unchecked. A '保存' (Save) button is at the bottom.
- 2.4GHz WPS Details:** Fields for '製品PIN' (Product PIN) showing '02934327' with a 'PINを生成' (Generate PIN) button, 'WPSボタン' (WPS Button) with a '開始' (Start) button, and 'PINによるWPS' (PIN-based WPS) with an input field and a '開始' (Start) button.
- 5GHz WPS Details:** Similar fields to the 2.4GHz section, with '製品PIN' showing '02934327' and 'PINによるWPS' having an input field and a '開始' (Start) button.
- WPSセキュリティ (WPS Security):** Two rows for '2.4G WPSステータス' and '5G WPSステータス', both showing '設定済' (Configured) and a 'リリース' (Release) button.
- ワイヤレス2.4GHz (Wireless 2.4GHz):** Fields for 'SSID' (dlink7A38), 'セキュリティ' (暗号化なし - No encryption), and '暗号化' (---).
- ワイヤレス5GHz (Wireless 5GHz):** Fields for 'SSID' (dlink7A38\_5G), 'セキュリティ' (暗号化なし - No encryption), and '暗号化' (---).

図 6-7 WPS（詳細設定）

This is a close-up view of the 'WPS' configuration section. It shows two rows:

- 2.4GHz WPS:** A checkbox labeled '有効' (Enabled) which is unchecked.
- 5GHz WPS:** A checkbox labeled '有効' (Enabled) which is unchecked.

A '保存' (Save) button is located below these settings.

図 6-8 WPS（有効 / 無効）（詳細設定）



詳細設定メニュー

本画面には以下の項目があります。

| 項目         | 説明                              |
|------------|---------------------------------|
| 2.4GHz WPS | チェックを入れ 2.4GHz 帯域の WPS を有効にします。 |
| 5GHz WPS   | チェックを入れ 5GHz 帯域の WPS を有効にします。   |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

**注意** WPS 機能を有効にすると、起動時の WPS プッシュ方式での接続認証が有効になります。

起動時の WPS プッシュ接続認証の動作

- 1. 本製品の電源ボタンを押し、本製品を起動させます。
- 2. 起動後に WPS プッシュ方式での接続認証が開始され、その間 (60 秒) 電源 LED が緑 / オレンジに点滅します。
- 3. LED 点滅中に接続するクライアント端末の WPS ボタンを押し、WPS での無線接続を開始します。

2.4GHz WPS

2.4GHz 帯域で WPS を行います。

2.4GHz WPS

|           |          |        |
|-----------|----------|--------|
| 製品PIN     | 02934327 | PINを生成 |
| WPSボタン    | 開始       |        |
| PINによるWPS |          | 開始     |

図 6-9 2.4GHz WPS（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目          | 説明                                                                  |
|-------------|---------------------------------------------------------------------|
| 製品 PIN      | 「PIN による WPS」で使用する PIN を表示 / 生成します。「PIN を生成」をクリックすると新しい PIN を生成します。 |
| WPS ボタン     | 「開始」をクリックすると WPS を開始します。                                            |
| PIN による WPS | 「製品 PIN」で表示されている / 生成した PIN を入力し、「開始」をクリックします。                      |

5GHz WPS

5GHz 帯域で WPS を行います。

5GHz WPS

|           |          |        |
|-----------|----------|--------|
| 製品PIN     | 02934327 | PINを生成 |
| WPSボタン    | 開始       |        |
| PINによるWPS |          | 開始     |

図 6-10 5GHz WPS（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目          | 説明                                                                  |
|-------------|---------------------------------------------------------------------|
| 製品 PIN      | 「PIN による WPS」で使用する PIN を表示 / 生成します。「PIN を生成」をクリックすると新しい PIN を生成します。 |
| WPS ボタン     | 「開始」をクリックすると WPS を開始します。                                            |
| PIN による WPS | 「製品 PIN」で表示されている / 生成した PIN を入力し、「開始」をクリックします。                      |

## WPS セキュリティ

WPS のステータスを解除します。

| WPSセキュリティ     |          |
|---------------|----------|
| 2.4G WPSステータス | 設定済 リリース |
| 5G WPSステータス   | 設定済 リリース |

図 6-11 WPS セキュリティ（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目                | 説明                                                               |
|-------------------|------------------------------------------------------------------|
| 2.4G/5G WPS ステータス | WPS ステータスを表示します。各帯域の「リリース」をクリックすると、事前に設定された WPS の内容が解除（初期化）されます。 |

## ワイヤレス 2.4GHz

2.4Ghz 無線帯域のステータスを表示します。

| ワイヤレス2.4GHz |           |
|-------------|-----------|
| SSID        | dlink7A38 |
| セキュリティ      | 暗号化なし     |
| 暗号化         | ---       |

図 6-12 ワイヤレス 2.4GHz（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目     | 説明                      |
|--------|-------------------------|
| SSID   | 2.4Ghz 帯に設定された SSID です。 |
| セキュリティ | 暗号化の有無について表示します。        |
| 暗号化    | 暗号化の内容について表示します。        |

## ワイヤレス 5GHz

5Ghz 無線帯域のステータスを表示します。

| ワイヤレス5GHz |              |
|-----------|--------------|
| SSID      | dlink7A38_5G |
| セキュリティ    | 暗号化なし        |
| 暗号化       | ---          |

図 6-13 ワイヤレス 5GHz（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目     | 説明                    |
|--------|-----------------------|
| SSID   | 5Ghz 帯に設定された SSID です。 |
| セキュリティ | 暗号化の有無について表示します。      |
| 暗号化    | 暗号化の内容について表示します。      |

## MAC フィルタ

MAC フィルタの設定を行います。  
MAC フィルタリングは、不正ユーザからのアクセスポイントへの接続を防ぐセキュリティ機能です。この機能はアクセスポイントへの接続を拒否するネットワーク機器を、固有の MAC アドレスでリスト化することで有効になります。拒否のリストに掲載されたデバイスが、アクセスポイントへ接続を試みても失敗します。

**注意** MAC アドレスフィルタリングテーブルの最大登録数は 64 となります。

詳細設定 > MAC フィルタの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 6-14 MAC フィルタ（詳細設定）

### ワイヤレスアクセスコントロールモード

本項目で MAC アドレスでのアクセスコントロールの有効 / 無効の指定、「拒否リスト」の作成を行います。

アクセスコントロールモード：無効 ▼

図 6-15 ワイヤレスアクセスコントロールモード（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目 | 説明                                                            |
|----|---------------------------------------------------------------|
| 無効 | ワイヤレスアクセスコントロールモード（MAC フィルタリング）を使用しません。                       |
| 拒否 | ワイヤレスアクセスコントロールモード（MAC フィルタリング）で設定した MAC アドレスのフィルタリングを有効にします。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィギュレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

## MAC アドレスを追加

MAC アドレスフィルタリングリストへ MAC アドレスを追加します。

図 6-16 MAC アドレスを追加（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目        | 説明                                                                                                                 |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 追加 / リセット | 「ワイヤレスアクセスコントロールモード」で MAC フィルタリング機能の「無効 / 拒否」を指定した後、空欄に MAC アドレスを入力し追加する場合は「追加」をクリック、入力内容をリセットする場合は「リセット」をクリックします。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。

保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

## MAC アドレスフィルタリングテーブル

定義済みの MAC アドレス拒否リストが表示されます。MAC アドレスフィルタリングテーブルから MAC アドレスを削除、一括削除、エクスポート / インポートします。

図 6-17 MAC アドレスフィルタリングテーブル（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目      | 説明                                                                                                                                            |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 選択項目の削除 | 該当の MAC アドレス左側の「選択」にチェックを入れ、「選択項目の削除」をクリックし、該当の MAC アドレスをリストから削除します。                                                                          |
| すべて削除   | 選択の有無にかかわらず、表示されている MAC アドレスすべてを削除します。                                                                                                        |
| エクスポート  | MAC アドレスフィルタリングリストを txt 形式のファイルで出力します。                                                                                                        |
| インポート   | MAC アドレスフィルタリングリストを txt 形式のファイルでインポートします。「参照」をクリックし、txt 形式のファイルを指定した後、「インポート」をクリックします。MAC アドレスフィルタリングリストは、「00:00:5E:00:53:AA」の形式で、1 行ずつ記載します。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。

保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

## 2.4GHz WLAN クライアントテーブル

2.4GHz 帯域の WLAN クライアントとその詳細について表示します。表示されたクライアントを MAC アドレスリストに追加することもできます。

図 6-18 2.4GHz WLAN クライアントテーブル（詳細設定）

本画面には以下の項目があります。

| 項目       | 説明                                     |
|----------|----------------------------------------|
| SSID     | 2.4GHz 帯域の WLAN クライアントが所属する SSID です。   |
| MAC アドレス | 2.4GHz 帯域の WLAN クライアント MAC アドレスを表示します。 |

| 項目        | 説明                                                                                                  |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Tx        | 当該無線クライアントの送信パケットです。                                                                                |
| Rx        | 当該無線クライアントの受信パケットです。                                                                                |
| シグナル (%)  | 当該無線クライアントのシグナル強度です。                                                                                |
| 接続時間      | 当該無線クライアントのアクセスポイントとの接続時間です。                                                                        |
| 待機時間      | 当該無線クライアントのアイドル状態の時間です。                                                                             |
| 追加 / リセット | 表示されたクライアントの左側にチェックを入れ、「追加」をクリックすると当該のクライアントを MAC アドレスリストに追加することもできます。「リセット」をクリックすると現在の状態がリセットされます。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

5GHz WLAN クライアントテーブル

5GHz 帯域の WLAN クライアントとその詳細について表示します。表示されたクライアントを MAC アドレスリストに追加することもできます。

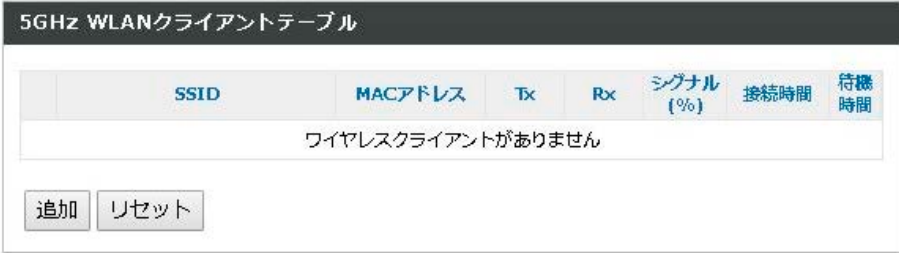


図 6-19 5GHz WLAN クライアントテーブル (詳細設定)

本画面には以下の項目があります。

| 項目        | 説明                                                                                                  |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| SSID      | 5GHz 帯域の WLAN クライアントが所属する SSID です。                                                                  |
| MAC アドレス  | 5GHz 帯域の WLAN クライアント MAC アドレスを表示します。                                                                |
| Tx        | 当該無線クライアントの送信パケットです。                                                                                |
| Rx        | 当該無線クライアントの受信パケットです。                                                                                |
| シグナル (%)  | 当該無線クライアントのシグナル強度です。                                                                                |
| 接続時間      | 当該無線クライアントのアクセスポイントとの接続時間です。                                                                        |
| 待機時間      | 当該無線クライアントのアイドル状態の時間です。                                                                             |
| 追加 / リセット | 表示されたクライアントの左側にチェックを入れ、「追加」をクリックすると当該のクライアントを MAC アドレスリストに追加することもできます。「リセット」をクリックすると現在の状態がリセットされます。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

## 第7章 管理メニュー

管理では本製品の管理設定を行います。

以下は本章のサブメニューの説明です。必要に応じて、設定 / 変更 / 修正を行ってください。

| サブメニュー                     | 説明                                                   | 参照ページ              |
|----------------------------|------------------------------------------------------|--------------------|
| <a href="#">ログイン設定</a>     | ログイン設定では本製品に接続するアカウント、パスワードやシステム名についての設定を行います。       | <a href="#">43</a> |
| <a href="#">タイムゾーン</a>     | アクセスポイントのタイムゾーン設定を行います。製品の日時を設定します。                  | <a href="#">45</a> |
| <a href="#">ネットワーク統計</a>   | アクセスポイントのネットワーク（LAN/WLAN）で使用されたパケットの統計情報について表示します。   | <a href="#">47</a> |
| <a href="#">ログ</a>         | アクセスポイントのログ情報について表示します。                              | <a href="#">48</a> |
| <a href="#">Syslog サーバ</a> | アクセスポイントの Syslog サーバについて設定します。                       | <a href="#">49</a> |
| <a href="#">システム</a>       | システムでは「再起動 / スケジュール」「工場出荷時設定」「設定を保存 / 復元」などの設定を行います。 | <a href="#">50</a> |
| <a href="#">ファームウェア</a>    | アクセスポイントのファームウェア更新を行います。                             | <a href="#">54</a> |
| <a href="#">ECO 管理</a>     | ECO 管理を行います。筐体の各 LED のオン / オフを設定することが可能です。           | <a href="#">56</a> |

### ログイン設定

ログイン設定では本製品に接続するアカウント、パスワードやシステム名についての設定を行います。

管理 > ログイン設定の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

The screenshot shows the D-Link management interface for a DAP-1880AC device. The top navigation bar includes 'ホーム' (Home), '基本設定' (Basic Settings), '詳細設定' (Advanced Settings), '管理' (Management), and 'NMS'. The left sidebar lists management options: 'ログイン設定' (Login Settings), 'タイムゾーン' (Time Zone), 'ネットワーク統計' (Network Statistics), 'ログ' (Log), 'Syslogサーバ' (Syslog Server), 'システム' (System), 'ファームウェア' (Firmware), and 'ECO管理' (ECO Management). The main content area is titled 'ログイン設定' and contains the following sections:

- このデバイスを管理するためのアカウント** (Accounts for managing this device):
  - 管理者アカウント** (Administrator Account):
    - ログイン名 (Login Name): admin (4-16 文字列)
    - パスワード (Password): [Field] (現在のパスワード / 新しいパスワード)
    - 確認 (Confirm): [Field] (確認 (4-32 文字列))
  - ユーザアカウント** (User Account) [Checked]:
    - ログイン名 (Login Name): user (4-16 文字列)
    - パスワード (Password): [Field] (現在のパスワード / 新しいパスワード)
    - 確認 (Confirm): [Field] (確認 (4-32 文字列))
- システム設定** (System Settings):
  - システム名 (System Name): dlink7A38
  - ロケーション (Location): [Field]

At the bottom right of the form are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

図 7-1 ログイン設定画面（管理）

このデバイスを管理するためのアカウント

製品に接続するアカウント、ログイン名、パスワードについての設定を行います。  
Web インタフェース管理画面へのログイン用にパスワードを変更することができます。セキュリティのために初期パスワードからの変更をお勧めします。アクセスポイントへの接続には 2 レベルの権限があり、「管理者」と「ユーザ」になります。「管理者」アカウントは NMS 機能へのアクセスと設定を行うことが可能で、「ユーザ」アカウントではそれできません。

このデバイスを管理するためのアカウント

管理者アカウント

ログイン名

admin

(4-16 文字列)

パスワード

現在のパスワード

新しいパスワード

確認 (4-32 文字列)

ユーザアカウント

ログイン名

user

(4-16 文字列)

パスワード

現在のパスワード

新しいパスワード

確認 (4-32 文字列)

図 7-2 このデバイスを管理するためのアカウント画面（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目                                        | 説明                                                                                            |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 管理者アカウント（管理者ログイン時のみ表示されます。）               |                                                                                               |
| ログイン名                                     | 管理者用ログイン名を指定します。                                                                              |
| パスワード                                     | 管理者用パスワードを指定します。現在のパスワードを入力後、新しいパスワードを 2 回（確認用）入力します。                                         |
| ユーザアカウント（「ユーザアカウント」横にチェックを入れ下記項目を表示させます。） |                                                                                               |
| ログイン名                                     | ユーザアカウント用ログイン名を指定します。                                                                         |
| パスワード                                     | ユーザアカウント用パスワードを指定します。現在のパスワードを入力後、新しいパスワードを 2 回（確認用）入力します。ユーザアカウントの初期値は、ユーザ名とパスワード共に「user」です。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

システム設定

製品のシステム、ロケーション名（設置個所）の設定を行います。

システム設定

システム名

dlink7A38

ロケーション

図 7-3 システム設定画面（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目      | 説明                       |
|---------|--------------------------|
| システム名   | システム名を指定します。             |
| ロケーション名 | 本製品のロケーション名（設置個所）を記入します。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

## タイムゾーン

アクセスポイントのタイムゾーン設定を行います。手動またはタイムサーバへの同期により、製品の日時を設定します。

管理 > タイムゾーンの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

図 7-4 タイムゾーン（管理）

以下では本画面の各項目について記載します。

### 日付と時間設定

アクセスポイントの日時の設定をします。

図 7-5 日付と時間設定画面（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目     | 説明                                                              |
|--------|-----------------------------------------------------------------|
| ローカル時間 | 現在の日時刻を指定します。<br>「PCから現在の時間を取得」をクリックすると管理用コンピュータの時間がそのまま同期されます。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。

保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。



NTP サーバ

NTP サーバ（タイムサーバ）を使用して、アクセスポイントの日時の設定をします。

NTPサーバ

NTPを使用

☐ 有効

サーバ名

ntp1.dlink.com

更新間隔

24

(1-24 時間)

図 7-6 NTP サーバ画面（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目      | 説明                            |
|---------|-------------------------------|
| NTP を使用 | 有効にチェックを入れ、日時の設定に「NTP」を使用します。 |
| サーバ名    | NTP サーバのアドレスを指定します。           |
| 更新間隔    | NTP サーバとの更新間隔（1-24 時間）を指定します。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

タイムゾーン

タイムゾーンを指定します。

タイムゾーン

タイムゾーン

(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

図 7-7 タイムゾーン画面（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目     | 説明                |
|--------|-------------------|
| タイムゾーン | 現在地のタイムゾーンを指定します。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

# ネットワーク統計

アクセスポイントのネットワーク（LAN/WLAN）で使用されたパケットの統計情報について表示します。

管理 > ネットワーク統計の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 7-8 ネットワーク統計（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目       | 説明                                                                                              |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| デバイス     | デバイスが接続されたインタフェースを表示します。<br>「WAN 接続」「LAN 接続」「2.4GHz ワイヤレス接続」「5GHz ワイヤレス接続」それぞれのパケット統計情報が表示されます。 |
| 送信したパケット | 当該インタフェースの送信パケット情報が表示されます。                                                                      |
| 受信したパケット | 当該インタフェースの受信パケット情報が表示されます。                                                                      |

「更新」をクリックしてネットワーク統計情報を更新します。

ログ

アクセスポイントのログ情報について表示します。

管理 > ログの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

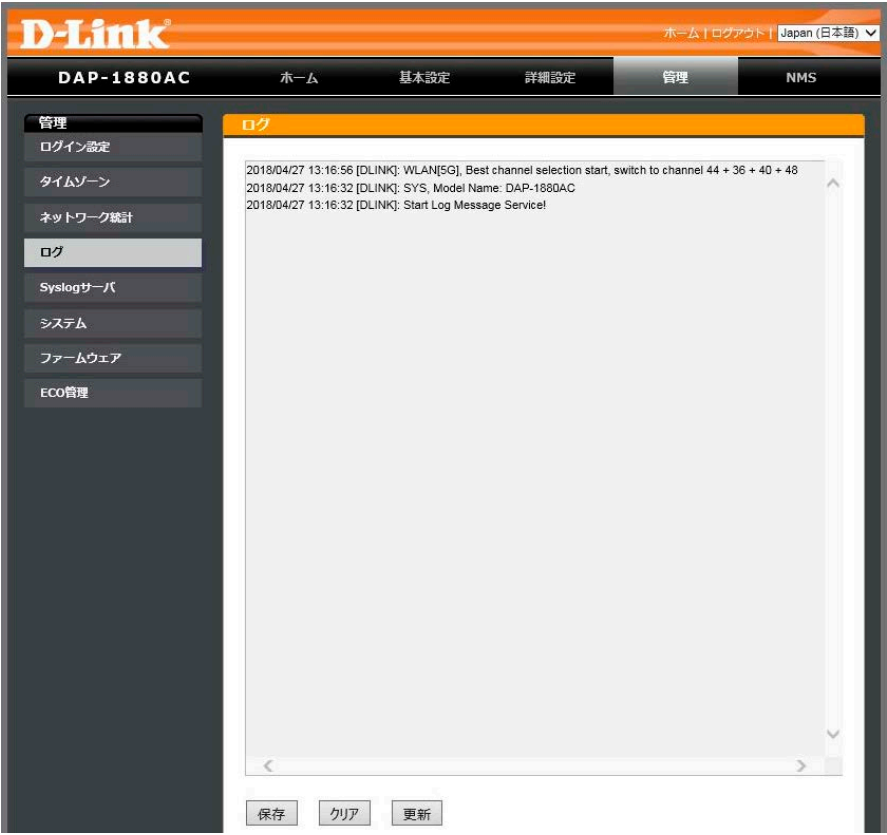


図 7-9 ログ（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目            | 説明                                                                                                                     |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保存 / クリア / 更新 | アクセスポイントのログ情報について表示します。<br>「保存」をクリックするとログ情報をログファイルとして保存します。<br>「クリア」をクリックするとログ情報をすべてクリアします。<br>「更新」をクリックするとログ情報を更新します。 |

## Syslog サーバ

アクセスポイントの Syslog サーバについて設定します。

管理 > Syslog サーバの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

The screenshot shows the D-Link management interface for the DAP-1880AC. The 'Syslogサーバ' (Syslog Server) menu item is selected in the left sidebar. The main content area displays the 'Syslogサーバ設定' (Syslog Server Settings) page. It includes a 'ログ転送' (Log Transfer) section with a checkbox for 'Syslogサーバ' and a text field for the server address. Below this is the 'シスログE-mail設定' (Syslog E-mail Settings) section, which includes a checkbox for 'E-mailログ' and a checkbox for 'E-mail 認証'. There are also text fields for 'E-mail 題名' (E-mail Title), 'SMTPサーバアドレス' (SMTP Server Address), 'SMTPサーバポート' (SMTP Server Port), '送信元E-mail' (Sender E-mail), and '受信者E-mail' (Receiver E-mail). At the bottom right, there are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

図 7-10 Syslog サーバ (管理)

本画面には以下の項目があります。

| 項目             | 説明                                                                                                                            |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Syslog サーバ設定   |                                                                                                                               |
| ログ転送           | 「Syslog サーバ」にチェックを入れ Syslog サーバを有効にします。<br>右横の空欄に Syslog を転送する Syslog サーバを指定します。                                              |
| シスログ E-mail 設定 |                                                                                                                               |
| E-mail ログ      | チェックを入れると「E-mail」でのログ通知を有効にします。                                                                                               |
| E-mail 題名      | 送信する「E-mail」のタイトルを指定します。                                                                                                      |
| SMTP サーバアドレス   | SMTP サーバアドレスを指定します。                                                                                                           |
| SMTP サーバポート    | SMTP サーバポートを指定します。                                                                                                            |
| 送信元 E-mail     | 送信元 E-mail アドレスを指定します。                                                                                                        |
| 受信者 E-mail     | ログを送信する受信者 E-mail アドレス（宛先）を指定します。                                                                                             |
| 認証             | E-mail に使用する認証方法を指定します。「無効」「SSL」「TLS」から指定可能です。<br>「SSL」「TLS」を選択するとそれぞれの「アカウント」「パスワード」指定する必要があります。<br>「無効」にするとメール送信に認証を使用しません。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。

保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

システム

システムではサブメニュー配下の「再起動 / スケジュール」「工場出荷時設定」「バックアップ / 復元」の項目で、設定を行います。

再起動 / スケジュール

アクセスポイントの再起動とそのスケジュールについて指定します。

管理 > システム > 再起動 / スケジュールの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 7-11 再起動 / スケジュール（管理）

再起動

「再起動」をクリックし、手動で再起動を行います。

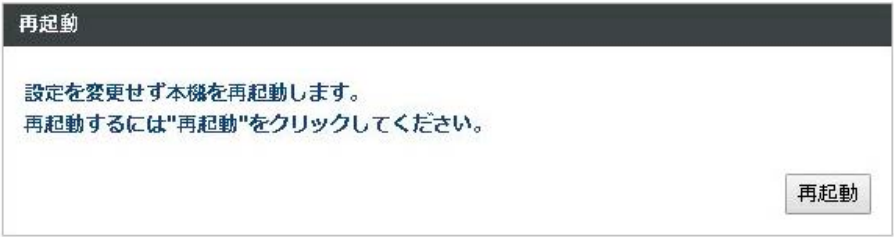


図 7-12 再起動（管理）

再起動スケジュール

再起動のスケジュールを設定します。

再起動スケジュール

再起動スケジュール

☐ 有効 ☒ 無効

スケジュール設定

曜日

時間

月

00:00

追加

編集

削除

保存

キャンセル

図 7-13 再起動スケジュール（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目           | 説明                                                                                                             |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 再起動スケジュール    | 「有効」にチェックを入れるとスケジュールでの再起動が有効になり、下部の設定を行うことが可能です。                                                               |
| スケジュール設定     | 設定されたスケジュールが表示されます。「曜日」と「時間」が表示されます。<br>スケジュールプロファイルは一つのみ設定可能です。                                               |
| 追加 / 編集 / 削除 | 「追加」 スケジュールプロファイルを追加します。スケジュールプロファイルは一つのみ設定可能です。<br>「編集」 当該のスケジュールプロファイルを編集します。<br>「削除」 当該のスケジュールプロファイルを削除します。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

工場出荷時設定

アクセスポイントを工場出荷時設定（初期化）に戻します。

管理 > システム > 工場出荷時設定の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 7-14 工場出荷時設定（管理）

工場出荷時設定

「工場出荷時設定」をクリックし、工場出荷時の設定にリセットします。



図 7-15 工場出荷時設定（管理）

リセットボタンの設定を行います。



図 7-16 工場出荷時設定（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目      | 説明                                                                    |
|---------|-----------------------------------------------------------------------|
| リセットボタン | リセットボタンの「有効」「無効」を設定します。無効に設定した場合、指定の長押し時間リセットボタンを押下してもシステムはリセットされません。 |
| 長押し時間   | リセットボタンの長押し時間（10-90 秒）を設定します。                                         |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。

保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

## バックアップ / 復元

アクセスポイントの設定内容を保存、復元します。

管理 > システム > バックアップ / 復元の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 7-17 設定を保存 / 復元（管理）

### コンフィグレーションのバックアップ

現在のアクセスポイントの設定をコンフィグレーションファイルとして保存します。

コンフィグレーションのバックアップ

パスワード付きコンフィグファイル

PCにコンフィグをバックアップ

バックアップ

(4-32 文字列)

図 7-18 コンフィグレーションのバックアップ（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目              | 説明                                                                                                                          |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| PCにコンフィグをバックアップ | 「バックアップ」をクリックして設定をコンフィグレーションファイルとしてPCに保存します。「パスワード付きコンフィグファイル」にチェックを入れるとコンフィグレーションファイルにパスワードを指定することが可能です。下部の空欄にパスワードを入力します。 |



コンフィグレーションの復元

設定をコンフィグレーションファイルから復元します。

コンフィグレーションの復元

PCからコンフィグを復元

ファイルを選択

選択されていません

☐ パスワード付きコンフィグファイルを開く

(4-32 文字列)

復元

図 7-19   コンフィグレーションを復元（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目            | 説明                                                                                                                                                           |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| PC からコンフィグを復元 | PC 上のコンフィグファイルを本機にリストアします。<br>「ファイルを選択」でコンフィグレーションファイルを指定します。パスワード付きのコンフィグレーションファイルの場合、「パスワード付きファイルを開く」にチェックを入れ、下部の空欄にパスワードを入力します。<br>「復元」をクリックし、設定をリストアします。 |

ファームウェア

アクセスポイントのファームウェア更新を行います。

管理 > ファームウェアの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

D-Link

ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

DAP-1830AC

ホーム   基本設定   詳細設定   **管理**   NMS

管理

ログイン設定

タイムゾーン

ネットワーク統計

ログ

Syslogサーバ

システム

**ファームウェア**

ECO管理

ファームウェア

ファームウェア更新

自動ファームウェア更新

☒ 有効   ☐ 無効

保存   キャンセル

更新方法

☒ ローカル   ☐ WEB

現バージョン

1.21

ファームウェアファイル

ファイルを選択

選択されていません

アップロード

| モデル | バージョン | 日付 |
|-----|-------|----|
|     |       |    |

リセット   更新実行

図 7-20   ファームウェア（管理）

## 自動ファームウェア更新

ファームウェアの自動更新を設定します。



図 7-21 自動ファームウェア更新（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目          | 説明                                                                                                                                   |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自動ファームウェア更新 | 自動ファームウェア更新を「有効」「無効」に指定します。本機能を有効化すると、サーバー上の最新ファームウェア情報を確認し、現バージョンより新しいバージョンが確認された場合、自動的にファームウェア更新を行います。電源投入時および起動時から 1 週間ごとに実行されます。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。

保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

## 手動ファームウェア更新

WEB 経由またはローカルに保存されたファイルを使用して、手動でファームウェアを更新します。



図 7-22 手動ファームウェア更新（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目          | 説明                                                                                                                                                                           |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 更新方法        | ファームウェアの更新方法を指定します。「ローカル」では管理 PC 上から、「Web」では Web 上の最新ファームウェアを検索します。                                                                                                          |
| 現バージョン      | 現ファームウェアバージョンを表示しています。                                                                                                                                                       |
| ファームウェアファイル | アクセスポイントのファームウェア更新を行います。<br>「参照」からファームウェアファイルを指定し、「アップロード」をクリックしてファイルのアップロードを行います。次に、更新するファイルを選択し（複数ある場合）「更新実行」をクリックしてファームウェア更新を実行します。「リセット」をクリックするとファームウェア更新の作業をすべてリセットします。 |

ECO 管理

アクセスポイントの ECO 管理を行います。LED や消費電力機能のオン / オフを設定することが可能です。

管理 > ECO 管理の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 7-23 ECO 管理（管理）

LED 設定

LED のオン / オフを設定します。



図 7-24 LED 設定（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目       | 説明                                                     |
|----------|--------------------------------------------------------|
| パワー LED  | 電源 LED（システム起動時と通常動作時の POWER / WLAN LED）のオン / オフを指定します。 |
| WLAN LED | WLAN LED（データ送受信時の POWER / WLAN LED）のオン / オフを指定します。     |
| Diag LED | Diag LED（システムエラー時の POWER / WLAN LED）のオン / オフを指定します。    |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。  
保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

## ECO モード

ECO モードのオン / オフを設定します。



ECOモード

ワイヤレスクライアントが接続されていない間もしくは通信量が少ない時、消費電力を抑えます。

ECOモード

☐ オン ☒ オフ

図 7-25 ECO モード（管理）

本画面には以下の項目があります。

| 項目      | 説明                     |
|---------|------------------------|
| ECO モード | ECO モードのオン / オフを指定します。 |

設定した内容を保存するには「保存」をクリックします。破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。

保存した設定を適用するには、「コンフィグレーション」メニューから全ての設定を適用してください。

第 8 章 NMS メニュー

NMS メニューでは Network Management System (NMS) についての設定を行います。  
以下は本章のサブメニューの説明です。必要に応じて、設定 / 変更 / 修正を行ってください。

| サブメニュー     | 説明                        | 参照ページ              |
|------------|---------------------------|--------------------|
| NMS 設定     | NMS の設定を行います。             | <a href="#">58</a> |
| NMS グルーピング | NMS グループについて表示します。        | <a href="#">60</a> |
| NMS モニタ    | NMS の設定内容、譲許などについて表示します。  | <a href="#">62</a> |
| ファームウェア    | NMS でのファームウェア更新について表示します。 | <a href="#">64</a> |

NMS 設定

Network Management System (NMS) は一般的に「AP アレイ」とも呼ばれるアクセスポイントの中央管理システムです。本アクセスポイントは最大 100 個\*までの DAP-1880AC の管理を、追加の無線コントローラの設置なしで行うことが可能です。

※ホテルモード使用時

NMS > NMS 設定の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 8-1 NMS 設定画面 (NMS)

本画面には以下の項目があります。

| 項目          | 説明                                                                                                                                                                                                       |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NMS         | 「有効」にチェックを入れると NMS 機能を有効にします。                                                                                                                                                                            |
| NMS モード     | 本アクセスポイントの NMS モードを指定します。「マスタ」「スレーブ」から指定可能です。<br>「マスタ」に指定するとマスタのアクセスポイント (AP コントローラ) として、設定内容が NMS 内の「スレーブ」のアクセスポイントへ同期されます。「スレーブ」に指定すると NMS 内の「マスタ」アクセスポイントの設定内容が同期されます。                                |
| NMS タイプ     | 「マスタ」モードの場合、NMS の種類を指定します。設置環境に応じて「ホーム」「ホテル」から指定します。<br>「ホーム」モードの場合、「スレーブ AP」が同グループ内の「マスタ AP」を自動的に設定をコピーします。<br>「ホテル」モードの場合、「マスタ AP」から同グループ内の「スレーブ AP」の設定を編集することが可能です。                                   |
| NMS マスタータイプ | 「スレーブ」モードの場合、NMS マスターの種類を指定します。「ダイナミック」「固定」から指定します。                                                                                                                                                      |
| タイムアウト      | NMS タイプが「ホーム」モードの場合、タイムアウトする時間を指定します。「無効」「30 分」「1 時間」「半日」「1 日」から指定可能です。「無効」を指定するとタイムアウトしません。<br>マスタのアクセスポイントがダウンした場合、タイムアウト値を経過しますと、スレーブのアクセスポイントがマスターのアクセスポイント管理下から外れ、他のマスターのアクセスポイントの管理下に所属可能な状態になります。 |

設定した内容を有効にするには「適用」をクリックします。「適用」をクリックすると、システムの再起動が行われます。

## コンフィグレーションのバックアップ

設定を保存します。

図 8-2 コンフィグレーションのバックアップ (NMS)

本画面には以下の項目があります。

| 項目              | 説明                                                                                                                                                                |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| PCにコンフィグをバックアップ | 「バックアップ」をクリックして設定をコンフィグレーションファイルとしてPCに保存します。「パスワード付きコンフィグファイル」にチェックを入れるとコンフィグレーションファイルにパスワードを指定することが可能です。下部の空欄にパスワードを入力します。<br>「管理>システム>バックアップ/復元」での設定内容と同等になります。 |

## コンフィグレーションの復元

設定を復元します。

図 8-3 コンフィグレーションの復元 (NMS)

本画面には以下の項目があります。

| 項目           | 説明                                                                                                                                                                                                     |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| PCからコンフィグを復元 | PC上のコンフィグファイルを本機にリストアします。<br>「ファイルを選択」でコンフィグレーションファイルを指定します。パスワード付きのコンフィグレーションファイルの場合、「パスワード付きコンフィグファイルを開く」にチェックを入れ、下部の空欄にパスワードを入力します。<br>「復元」をクリックし、設定をリストアします。<br>「管理>システム>バックアップ/復元」での設定内容と同等になります。 |

## NMS グループ핑グ

NMS グループ内の管理 AP（スレーブ）は設定内容などが同期され、グループとしてまとめて管理されています。現在の NMS グループ内の AP について情報を表示します。

NMS > NMS グループ핑グの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 8-4 NMS グループ핑グ画面（NMS）

## NMS グループ

表示する NMS グループを指定します。

NMSグループ

1 ▼ (最大: 10AP/グループ)

適用

図 8-5 NMS グループ

ドロップダウンメニューで「NMS グループ」を選択します。「適用」をクリックし、表示する NMS グループを指定します。

## 現在のグループメンバ

現在の NMS グループのメンバについて表示します。

現在のグループメンバ

|                          | ステータス                                                                             | MACアドレス        | システム名     | ロケーション | IPアドレス    | アクション                               |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----------|--------|-----------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> |  | EC:2:1:1:1:1:1 | dlinkB458 |        | 172.1.1.1 | <input checked="" type="checkbox"/> |

選択されていません

図 8-6 現在のグループメンバ画面 (NMS)

本画面には以下の項目があります。

| 項目                       | 説明                                                                                                                                |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 該当の NMS グループメンバにチェックを入れることで編集や設定を行うことが可能になります。                                                                                    |
| ステータス                    | NMS グループ内のスレーブ（管理 AP）の状態について表示します。<br>「緑」が有効「黄色」は更新中「赤」は接続できない状態を意味します。                                                           |
| MAC アドレス                 | NMS グループ内のスレーブ（管理 AP）の MAC アドレスについて表示します。                                                                                         |
| システム名                    | NMS グループ内のスレーブ（管理 AP）のシステム名（デバイス名）について表示します。                                                                                      |
| ロケーション                   | NMS グループ内のスレーブ（管理 AP）のロケーション（設置場所）について表示します。                                                                                      |
| IP アドレス                  | NMS グループ内のスレーブ（管理 AP）の IP アドレスについて表示します。                                                                                          |
| アクション                    | NMS グループ内のスレーブ（管理 AP）をアクション（状態）に指定します。<br>下記「AP グループリスト」で「アクション」をチェックすることで該当メンバの設定を行うことが可能です。<br>チェックを外すと該当のメンバは AP グループリストへ戻ります。 |

「編集」をクリックして該当のシステム（デバイス）の設定を行います。詳しい設定内容は「第 5 章 基本設定メニュー」を参照ください。

「設定保存」をクリックすると設定内容のファイル保存を行います。

「設定復元」をクリックするとファイル保存した設定内容の復元を行います。「ファイル選択」から設定ファイルを指定します。

表示された情報、設定内容を最新にするには「更新」をクリックします。

## AP グループリスト

AP グループ内の AP についてリスト表示します。

APグループリスト

| ステータス                                                                               | MACアドレス          | システム名     | ロケーション | IPアドレス    | アクション                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------|--------|-----------|--------------------------|
|  | EC:2:1:1:1:1:1A9 | dlink67A9 |        | 172.1.1.1 | <input type="checkbox"/> |
|  | 7D:E:1:1:1:1:1A  | dlink50CA |        | 172.1.1.1 | <input type="checkbox"/> |
|  | EC:2:1:1:1:1:150 | dlinkB450 |        | 172.1.1.1 | <input type="checkbox"/> |

更新

図 8-7 AP グループリスト画面 (NMS)

本画面には以下の項目があります。

| 項目       | 説明                                                                                                           |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステータス    | AP グループの AP の状態について表示します。「青」が有効「黄色」は更新中「赤」は接続できない状態を意味します。                                                   |
| MAC アドレス | AP グループの AP の MAC アドレスについて表示します。                                                                             |
| システム名    | AP グループの AP のシステム名（デバイス）について表示します。                                                                           |
| ロケーション   | AP グループの AP のロケーション（設置場所）について表示します。                                                                          |
| IP アドレス  | AP グループの AP の IP アドレスについて表示します。                                                                              |
| アクション    | AP グループ内のスレーブ（管理 AP）をアクション（状態）に指定します。<br>「AP グループリスト」で「アクション」をチェックすることで、「NMS グループメンバ」で該当メンバの設定を行うことが可能になります。 |

表示された情報を最新にするには「更新」をクリックします。



# NMS モニタ

NMS グループ内の管理 AP（スレーブ）は設定内容などが同期され、グループとしてまとめて管理されています。現在の NMS グループ内の AP について情報を表示します。

NMS > NMS モニタの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 8-8 NMS モニタ画面（NMS）

# NMS グループ

表示する NMS グループを指定します。

NMSグループ

1 ▼

適用

図 8-9 NMS グループ

ドロップダウンメニューで「NMS グループ」を選択します。「適用」をクリックし、表示する NMS グループを指定します。

## AP グループ

既存の AP グループについて表示します。

| APグループ                                                                            |         |           |        |                                                                                   |       |      |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------|------|
| ステータス                                                                             | MACアドレス | システム名     | ロケーション | IPアドレス                                                                            | バージョン | SSID |
|  | EC:2:58 | dlinkB458 |        |  | 1.    |      |
|  | EC:2:A9 | dlink67A9 |        |  | 1.    |      |
|  | 70:6:CA | dlink50CA |        |  | 1.    |      |
|  | EC:2:50 | dlinkB450 |        |  | 1.    |      |

更新

図 8-10 現在のグループメンバ画面 (NMS)

本画面には以下の項目があります。

| 項目       | 説明                                                |
|----------|---------------------------------------------------|
| ステータス    | AP の状態について表示します。「緑」が有効「黄色」は更新中「赤」は接続できない状態を意味します。 |
| MAC アドレス | AP の MAC アドレスについて表示します。                           |
| システム名    | AP のシステム名について表示します。                               |
| ロケーション   | AP のロケーション（設置場所）について表示します。                        |
| IP アドレス  | AP の IP アドレスについて表示します。                            |
| バージョン    | AP のファームウェアバージョンについて表示します。                        |
| SSID     | AP の所属する SSID を表示します。                             |

表示された情報を最新にするには「更新」をクリックします。

## ファームウェア

本項目では AP グループのファームウェア更新について説明します。

### ファームウェア更新手順の概要

- 1. ファームウェアファイルをローカルまたは Web からアップロードします。
- 2. 「NMS グループ」を選択し AP リストを表示します。
- 3. 対象の AP を選択しアップグレードを行います。

NMS > ファームウェアの順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 8-11 ファームウェア画面 (NMS)

## ファームウェア更新

ファームウェア更新について表示します。

図 8-12 ファームウェア更新画面（NMS）

本画面には以下の項目があります。

| 項目          | 説明                                                                                                                                                                                                         |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 更新方法        | ファームウェアファイルの更新元を「ローカル」「WEB」から選択し、指定します。<br>「ローカル」を指定すると管理 PC のファームウェアファイルでファームの更新を行います。「ファイルを選択」をクリックし場所を指定します。<br>「WEB」を指定した場合、Web サーバの最新ファームウェアを自動表示します。<br>「アップロード」をクリックし、更新するファームウェアを下記のリストにアップロードします。 |
| ファームウェアファイル | 「ファイルを選択」をクリックし「ファームウェアファイル」の場所を指定します。<br>「アップロード」をクリックし、更新するファームウェアを下記のリストにアップロードします。                                                                                                                     |
| モデル         | ファームウェアの対応モデルについて表示します。                                                                                                                                                                                    |
| バージョン       | ファームウェアのバージョンについて表示します。                                                                                                                                                                                    |
| 日付          | ファームウェアの日付について表示します。                                                                                                                                                                                       |

「リセット」をクリックすると指定した情報をリセットします。

## NMS グループ

表示する NMS グループを指定します。

図 8-13 NMS グループ

ドロップダウンメニューで「NMS グループ」を選択します。「適用」をクリックし、表示する NMS グループを指定します。

AP グループ

AP グループのファームウェア更新について表示します。

|                          | ステータス                                                                             | MACアドレス    | システム名     | ロケーション | IPアドレス     | バージョン      | 状況 |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------|--------|------------|------------|----|
| <input type="checkbox"/> |  | XXXXXXXXXX | dlinkB458 |        | XXXXXXXXXX | XXXXXXXXXX | 0% |
| <input type="checkbox"/> |  | XXXXXXXXXX | dlink67A9 |        | XXXXXXXXXX | XXXXXXXXXX | 0% |
| <input type="checkbox"/> |  | XXXXXXXXXX | dlink50CA |        | XXXXXXXXXX | XXXXXXXXXX | 0% |
| <input type="checkbox"/> |  | XXXXXXXXXX | dlinkB450 |        | XXXXXXXXXX | XXXXXXXXXX | 0% |

図 8-14    ファームウェア更新画面（NMS）

本画面には以下の項目があります。

| 項目                                                                                | 説明                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
|  | 該当の AP にチェックを入れ、個別にファームウェアの更新を行います。                |
| ステータス                                                                             | AP の状態について表示します。「緑」が有効「黄色」は更新中「赤」は接続できない状態を意味します。  |
| MAC アドレス                                                                          | AP の MAC アドレスについて表示します。                            |
| システム名                                                                             | AP のシステム名について表示します。                                |
| ロケーション                                                                            | AP のロケーション（設置場所）について表示します。                         |
| IP アドレス                                                                           | AP の IP アドレスについて表示します。                             |
| バージョン                                                                             | AP のファームウェアバージョンについて表示します。                         |
| 状況                                                                                | ファームウェア更新状況について表示します。                              |
| 全てアップグレード                                                                         | クリックするとグループ内のすべてのアクセスポイントを更新します。                   |
| 選択アップグレード                                                                         | AP グループのリストのアクセスポイントにチェックを入れ、指定したアクセスポイントのみを更新します。 |

「更新」をクリックすると表示された情報を更新します。

## 【付録 A】 工場出荷時設定に戻す

リセットボタンを押下することで本製品の設定を工場出荷状態に戻します。

1. 必要に応じて設定ファイルのバックアップを行います。
2. リセットボタンを 10 秒間を押し続けます。
3. リセットボタンを放すと本製品が再起動します。
4. アクセスポイントに接続するまでしばらくお待ちください。(秒数が表示されます。)

**注意** 必ずご使用の製品の設定を保存してください。リセットボタンを押下すると、すべての設定が消去されます。

## 【付録 B】 よくお問い合わせいただくご質問 (FAQ)

ここでは、本製品の設定時や運用時における問題の解決法について説明します。ネットワークの設定から LAN アダプタのトラブルなどについて記載しています。問題が発生した場合、はじめにこの項をお読みください。

**注意** 本製品の設定を行うためには、設定用 PC と本製品を直接 UTP ケーブルで接続することをお勧めします。

1. 本製品の設定を行うコンピュータから Web ベースの設定メニューにアクセスできません。
  - 本製品前面にある LAN LED が点灯していることを確認してください。LED が点灯していない場合は、UTP ケーブルが正しくポートに接続されているか確認してください。
  - LAN アダプタが正常に動作しているか確認してください。ネットワークアダプタのドライバが正しくインストールされているかチェックします (トラブルシューティングの 3. を参照してください)。
  - 設定用 PC の IP アドレスが本製品と同じアドレス範囲およびサブネット内であることを確認してください。

**注意** 本製品の IP アドレスの初期値は 192.168.0.50 です。同じネットワーク内のすべてのコンピュータは同じアドレス範囲内の固有のアドレスを持つ必要があります (例:192.168.0.x)。同じ IP アドレスを持つコンピュータがあるとネットワーク上で認識できなくなります。また、ネットワーク内の PC はすべて同じサブネットマスクである必要があります (例:255.255.255.0)。

- Web ブラウザが最新であることを確認してください。
- コンピュータ上のすべてのインターネットセキュリティソフトウェアの動作を無効にしてください。Zone Alarm、Black Ice、Sygate、Norton Personal ファイアウォール、および Windows XP ファイアウォールなどのソフトウェアファイアウォールは設定ページへのアクセスを妨害する可能性があります。それらの無効および設定に関する詳しい情報についてはご使用のファイアウォールソフトウェアに含まれるヘルプファイルをチェックしてください。
- 次の手順でインターネット設定を行います。
  - 1) Windows の「スタート」-「コントロールパネル」の順にクリックして「インターネットオプション」アイコンをクリックします。「セキュリティ」タブで設定を初期値に戻すボタンをクリックします。
  - 2) 「接続」タブを開き、「LAN の設定」ボタンをクリックします。チェックが入っていないことを確認します。「OK」をクリックします。
  - 3) 「詳細設定」タブをクリックし、「詳細設定を復元」をクリックし、設定を初期値に戻します。「OK」ボタンを 3 回クリックします。
  - 4) ブラウザを開いている場合は、これを終了します。
  - 5) Web 管理ユーティリティにアクセスします。ご使用の Web ブラウザを開き、アドレスバーに本製品の IP アドレスを入力します。Web 管理のためのログインページが開きます。
- Ping コマンドを実行し、本製品から応答があるかどうかを確認してください。Windows の「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「cmd」と入力して「OK」ボタンをクリックします。表示された画面で「ping 192.168.0.50」と入力します。正しく接続が行われていると 4 回リプライがあります。
- まだ設定画面にアクセスできない場合、PoE 給電を伴うイーサネットケーブルを 10 秒間本製品から抜いた後、再度ケーブルを接続します。さらに約 30 秒待ってから、設定画面にアクセスしてみてください。複数のコンピュータがある場合、違うコンピュータを使用して接続を試してみてください。

**注意** 本製品の IP アドレスを変更した場合は、設定した正しい IP アドレスに ping 送信を行ってください。

2. 無線 LAN クライアントからインターネットにアクセスできません。

無線クライアントが正しいアクセスポイントに接続していることを確認します。接続を確認するためには、タスクバーの「ネットワーク」アイコンをクリックし、正しいネットワークに接続していることを確認してください。確認方法の詳細についてはご使用の無線 LAN アダプタ付属のマニュアルを参照してください。

- 無線 LAN アダプタに割り当てた IP アドレスが、アクセスポイントおよびゲートウェイと同じ IP アドレス範囲にあることを確認してください。無線 LAN アダプタは同じアドレス範囲の IP アドレスを持つ必要があります。各デバイスは独自の IP アドレスを持つ必要があります。ネットワーク内の PC にはすべて同じサブネットマスクを設定します。無線 LAN アダプタに割り当てられた IP アドレスは、以下の手順で確認できます。
  1. Windows の「スタート」-「コントロールパネル」の順にクリックして「ネットワークと共有センター」アイコンをクリックします。
  2. 画面左の「アダプターの設定の変更」をクリックします。
  3. 「ワイヤレスネットワーク」のアイコンを右クリックし、「状態」を選択します。
  4. 「詳細」をクリックすると、IP アドレスが表示されます。
- 必要に応じて無線 LAN アダプタにスタティック IP アドレスを割り当てます。DNS サーバアドレスを設定した場合は、デフォルトゲートウェイのアドレスの設定も行う必要があります。ただし、DHCP 機能搭載ルータを使用している場合は、スタティック IP アドレスの設定は必要ありません。

3. 受信の障害となる可能性のある要因は何ですか？

弊社無線 LAN 製品は好きな場所からのネットワークアクセスを可能にしますが、製品の設置環境によっては無線範囲に影響が出る場合があります。

4. 無線接続が途切れます。

- 本製品が壁や物から 15cm 以上離れるように設置してみてください。
- 2.4GHz 帯デジタルコードレス電話、X10 モジュールなどを使用したホームセキュリティシステム、天井設置型の扇風機、電灯、他の無線製品電波などとの干渉により、通信品質が激しく低下して通信ができなくなる場合があります。ご使用のルータ、アクセスポイントおよび無線 LAN アダプタのチャンネルを変えて、干渉を回避してください。
- 本製品は、電子レンジやモニター、モーターなど RF ノイズを発生する電気機器から 90 ～ 180cm 以上離れた場所に設置してください。

5. 無線 LAN 接続ができません。

本製品で暗号化設定を行っている場合は、無線 LAN クライアント側も同じ暗号方式を有効にする必要があります。

- 無線 LAN クライアントに同じ SSID が設定されていることを確認してください。異なる SSID が設定されていると接続ができません。
- 本製品と無線 LAN クライアントを同じ部屋に移動して接続してみてください。
- すべてのセキュリティ設定を無効にして接続してみてください。
- 本製品と無線 LAN クライアントの電源をオフにしてください。再度本製品の電源を入れ、次に無線 LAN クライアントの電源を入れてください。
- すべてのデバイスがインフラストラクチャモードに設定されていることを確認してください。
- LED が正常な表示をしているかを確認してください。正常に表示されていない場合はケーブル類がしっかりと接続されているかどうかを点検してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイおよび DNS の設定がネットワーク内のすべてのデバイスで正しく行われていることを確認してください。
- 2.4GHz 帯デジタルコードレス電話、X10 モジュールなどを使用したホームセキュリティシステム、天井設置型の扇風機、電灯、他の無線製品電波などとの干渉により、通信品質が激しく低下して通信ができなくなる場合があります。本製品とネットワーク上のすべてのデバイスのチャンネルを変えて、干渉を回避してください。
- 本製品は、電子レンジやモニター、モーターなど RF ノイズを発生する電気機器から 90 ～ 180cm 以上離れた場所に設置してください。

6. パスワードを忘れてしまいました。

パスワードを忘れた場合、本製品のリセットを行う必要があります。リセットを行うと、すべての設定は工場出荷時設定に戻ります。本製品をリセットするために、製品前面上部にあるリセットボタンを使用します。クリップなどでリセットボタンを押した状態で本製品に電源を入れ、10 秒間ボタンを押し続けます。ボタンを放すと本製品が再起動します。アクセスポイントに接続するまでしばらくお待ちください。初期値は「http://dlinkap」です。ログイン名とパスワードは「admin」です。

**注意**

本製品は初期値で「DHCP クライアント」として設定されています。有効な DHCP サーバから IP アドレスを割り振られる環境にある場合は「http://dlinkap」と入力し、ログインします。DHCP サーバが無効の環境の場合、「http://192.168.0.50」と入力しログインします。固有の IP アドレスを割り振る場合、同じネットワーク内のすべてのコンピュータは同じアドレス範囲内の固有のアドレスを持つ必要があります (例:192.168.0.x)。同じ IP アドレスを持つコンピュータがあるとネットワーク上で認識できなくなります。また、ネットワーク内の PC はすべて同じサブネットマスクである必要があります (例:255.255.255.0)。

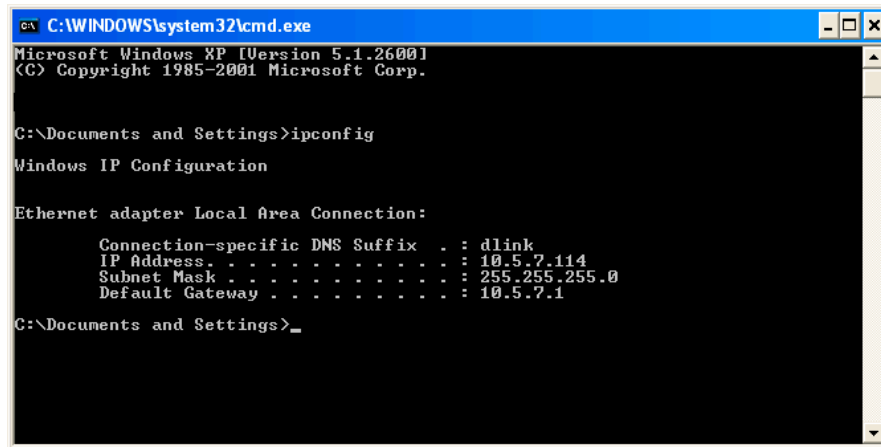
## 【付録C】 基本的なネットワークの設定

### IP アドレスのチェック

新しく無線アダプタをコンピュータに取り付けた後に、TCP/IP 設定の初期値は、自動的に IP アドレスを DHCP サーバ(すなわち無線ルータ)から取得するように設定される必要があります。

以下の手順で IP アドレスを確認します。

1. Windows の「スタート」メニュー>「ファイル名を指定して実行」を選択します。
2. 「ファイル名を指定して実行」ダイアログで「cmd」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。プロンプトが表示されたら、「ipconfig」と入力し、「Enter」を押します。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Documents and Settings>ipconfig

Windows IP Configuration

Ethernet adapter Local Area Connection:

    Connection-specific DNS Suffix  . : dlink
    IP Address. . . . .               : 10.5.7.114
    Subnet Mask . . . . .             : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . .         : 10.5.7.1

C:\Documents and Settings>
```

図 B-1 ipconfig の実行画面

3. アダプタの IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイが表示されます。  
アドレスが 0.0.0.0 である場合、アダプタのインストール、セキュリティ設定、およびルータの設定をチェックしてください。ファイアウォールソフトウェアプログラムによっては、新しく取り付けられたアダプタ上の DHCP リクエストを防御する場合があります。ホットスポット(例えばホテル、コーヒーショップ、空港)で無線ネットワークと接続している場合、その無線ネットワーク設定については従業員または管理者にご確認ください。



## 固定 IP アドレスの割り当て

DHCP が有効でないゲートウェイ / ルータを使用している場合、または固定 IP アドレスを割り当てる必要がある場合、以下の手順で設定します。

1. Windows 7 では「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワークと共有センター」の順にクリックします。
2. 「アダプターの設定の変更」をクリックし、「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして「プロパティ」を選択します。
3. 「インターネットプロトコル (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
4. 「次の IP アドレスを使う」をクリックし、ご使用のネットワークまたはルータ上の LAN 側 IP アドレスと同じサブネット上にある IP アドレスを入力します。

### 使用例：

ルータの LAN 側 IP アドレスが 192.168.0.1 である場合、192.168.0.X(X:2 ~ 99 の数字) とします。選択する番号がネットワーク上で使用されていないことを確認してください。「デフォルトゲートウェイ」をルータの LAN 側 IP アドレス (192.168.0.1) と同じにします。「優先 DNS サーバー」をルータの LAN 側 IP アドレス (192.168.0.1) と同じにします。「代替 DNS サーバー」は必要でないか、ご契約の ISP から通知されている DNS サーバーを入力することができます。

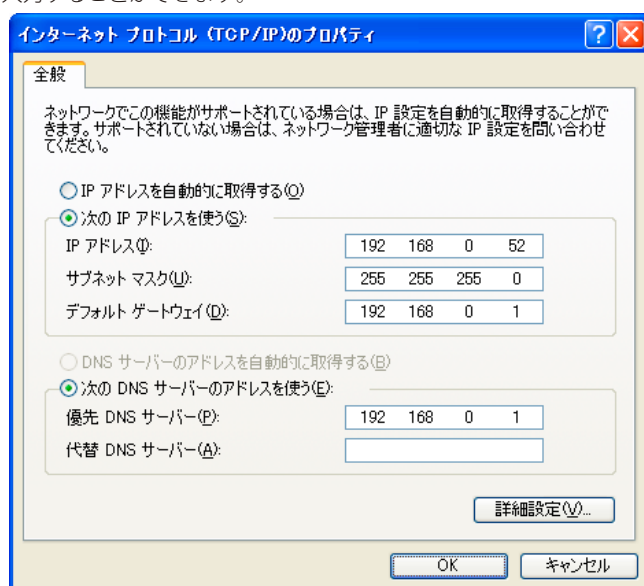


図 B-2 インターネットプロトコル

5. 「OK」ボタンをクリックし、設定を保存します。

## 【付録 D】 NMS について

小規模オフィスなどでの無線 LAN 環境 (WLAN) は複雑、不安定な接続状況になりがちです。複数のアクセスポイント (AP) の設定、管理、セキュリティ機能の強化など、ネットワーク環境の整備には大きな負担がかかります。限られたリソースの小規模オフィスには、大規模オフィスのためのネットワークソリューションは複雑で非効率です。

NMS (Network Management System) は小規模オフィス向け無線 LAN 環境管理ツールとして最適です。無線 LAN 管理機能はファームウェアに実装されており、複数 AP の設定も簡単に行えます。最大 100 台\*までの DAP-1880AC を同時に管理することが可能です。これにより無線 LAN 環境設計はより簡単で、より実用的なものになります。

※ホテルモード使用時

### シンプルな無線 LAN 管理ツール

IT リソースの限られた小規模オフィスでの無線 LAN の設定には、NMS が最適です。無線ネットワークの管理負荷を最小限に抑えながら、最適でセキュアな無線 LAN 環境の構築を簡単に設計することができます。

### ネットワーク構築、管理の簡素化

NMS を使用して AP の管理を簡素化します。NMS の構築手順を以下になります。

#### Step 1 - 「マスタ AP」の配置：

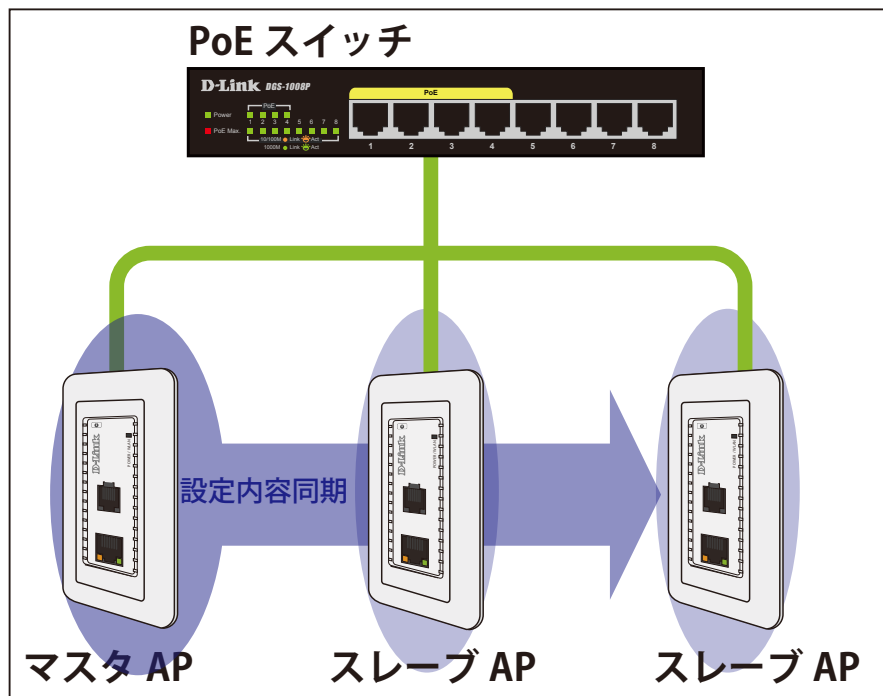
- ・ AP を 1 つ「マスタ」として指定します。
- ・ AP の設定をします。

#### Step 2 - 「スレーブ AP」の配置：

- ・ スレーブとなる AP を「スレーブ」として指定します。

#### Step 3 - 設定の同期：

- ・ 「スレーブ AP」が「マスタ」の設定に同期します。



#### 注意

NMS を使用する場合、NMS のモードを「ホーム」「ホテル」から指定します。「ホーム」モードの場合、「スレーブ AP」が同グループ内の「マスタ AP」を自動的に設定をコピーします。「ホテル」モードの場合、「マスタ AP」から同グループ内の「スレーブ AP」の設定を編集することが可能です。

最大 100 台\*までの DAP-1880AC をアレイ内に管理することが可能です。同アレイ内の AP は同じでモデルで同じサブネットを使用している必要があります。各 AP はそれぞれ固有の IP アドレスを設定します。

※ホテルモード使用時